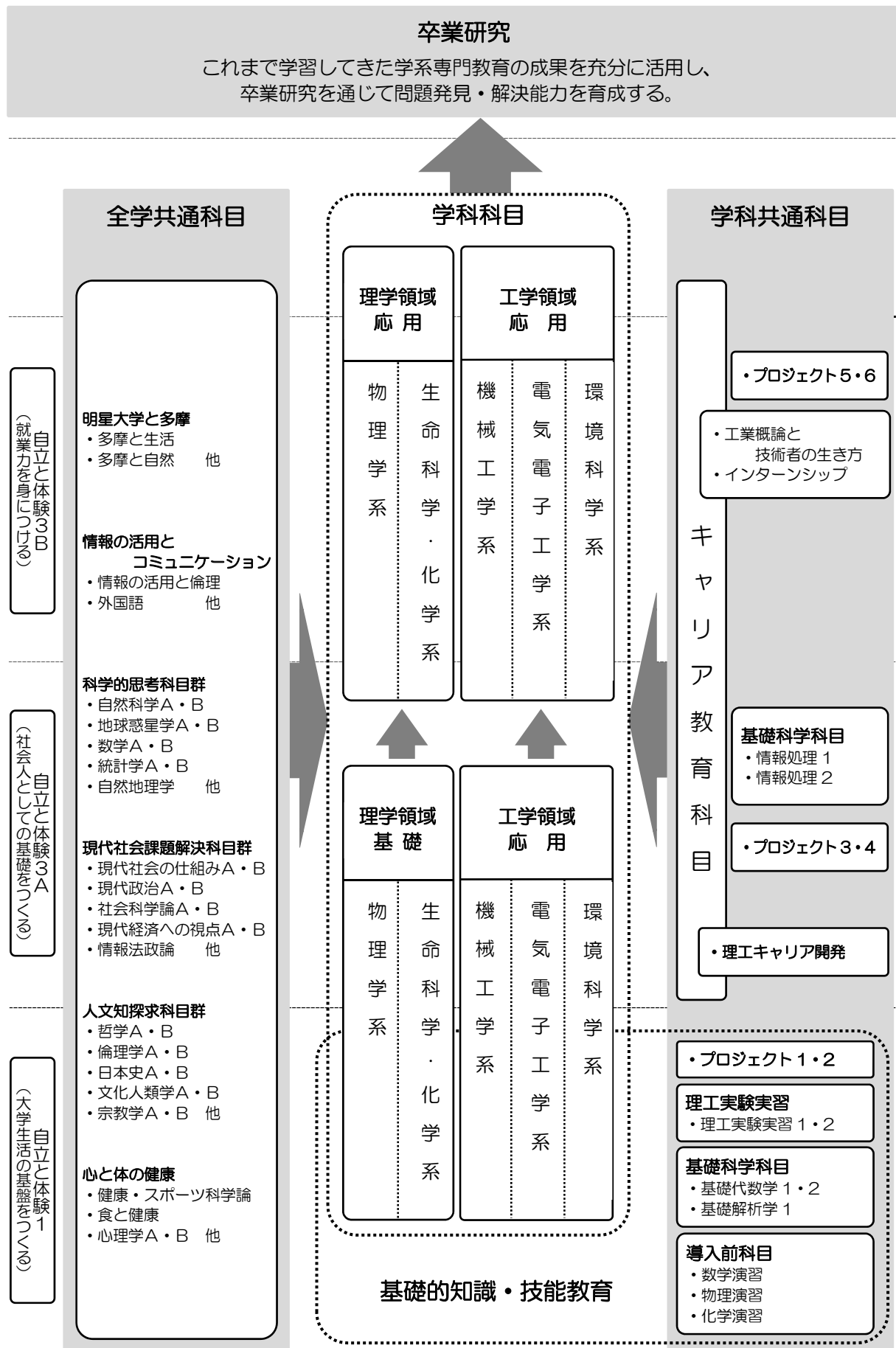


総合理工学科の教育課程体系図



物理学系のカリキュラムマップ

■カリキュラムマップの見方

この表は学科ごとに観点別に定めている学位授与方針【ディプロマポリシー（DP）】が卒業までに全て達成できるよう、バランスよく履修するツールとなるものです。学位授与方針とは、卒業時点での到達目標を表します。一番上には所属する学科の学位授与方針の番号が記載されており、どの科目で学位授与方針を達成するかを示しています（学位授与方針は下表参照）。

科目名の左側にあるアルファベットと数字は、ナンバリング（科目番号）といて、履修順序の目安となっています。また、○のついている科目は必修科目です。

各年次の履修科目の【◎】【●】記号は、各学位授与方針との関連度 [【◎】強く関連する / 【●】関連する] を表しています。

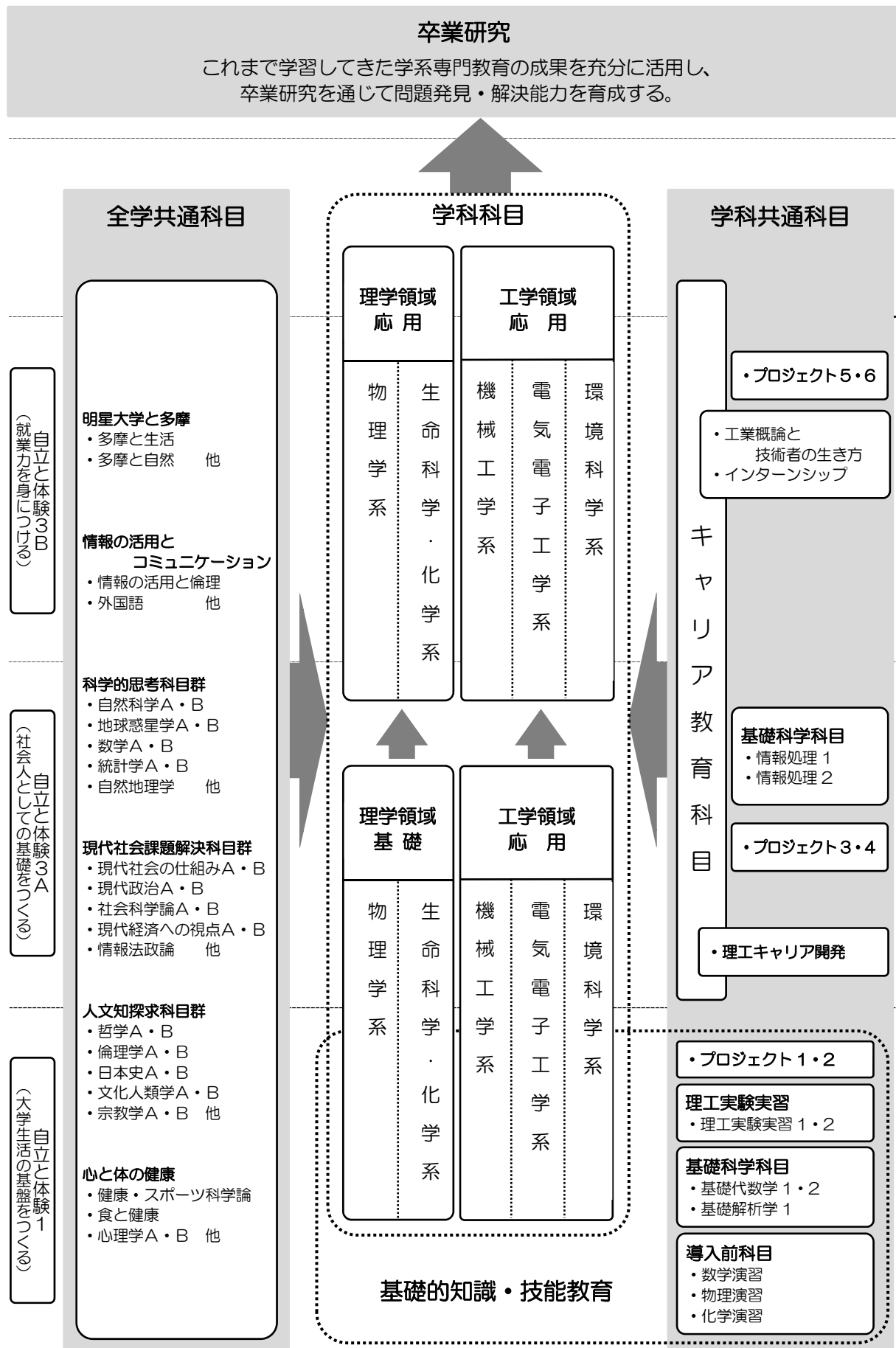
【学位授与方針】

【課題発見・解決】（実践躬行の体験教育を通じた統合的学修による課題発見・解決力）	
DP1	実験・演習を通して物理学の基礎的な理解を深め、研究・開発・教育の現場で課題を発見し、解決することができる。
【思考・判断】（グローバルな思考に基づく社会貢献）	
DP2	科学、物理学の視点を持って研究を遂行し、地球規模の問題解決に寄与すると同時に、修得した技術や知識をもって地域や社会に貢献することができる。
【関心・意欲・態度】（自己確立による社会貢献）	
DP3	グループワークでの実験を通じ、他者と協働して問題解決に取り組むことができる。
DP4	技術者・研究者・教育者としての倫理観を備え、行動することができる。
【知識・理解・表現】（社会を支える幅広い教養）	
DP5	物理学を体系的に理解し、身近な現象と結びつけて考えることができる。
DP6	十分なコミュニケーション能力を有し、物理学の知識を他者に伝えることができる。
【技術・技能】（社会貢献に結びつく資格並びに特別な技術・技能）	
DP7	多様な実践の場で求められる実験・調査・データ解析の技術を身に付けている。
DP8	数理的・論理的な思考能力を身に付けている。

○：必修科目

学年	科目番号	科目名	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8
1年	R1R1000	数学演習	1					●			●
	R1R1001	物理演習	1					●			●
	R1R1010	○基礎代数学 1	2		○		○	●	●	○	○
	R1R1011	○基礎解析学 1	2		○		○	●	●	○	○
	R1R1012	基礎代数学 2	2		○		○	●	●	○	○
	R1R1013	基礎解析学 2	2		○		○	●	●	○	○
	R1R1030	○理工実験実習 1	2	○	○	○	○	●	●	○	●
	R1R1031	○理工実験実習 2	2	○	○	○	○	●	●	○	●
	R1R1050	○プロジェクト 1	1	○	○	○	○	●	●	○	●
	R1R1051	○プロジェクト 2	1	○	○	○	○	●	●	○	●
	S1R1000	○基礎力学 1	2		○		○	○	●	○	○
	S1R1001	○基礎力学 2	2		○		○	○	●	○	○
	S1R1002	基礎現代物理	2		○		○	○	○	●	○
	S1R1010	○基礎電磁気学 1	2		○		○	○	●	○	○
S1R1011	○基礎電磁気学 2	2		○		○	○	●	○	○	
2年	R1R1040	情報処理 1	2		○		○	●	●	○	○
	R1R1041	情報処理 2	2		○		○	●	●	○	○
	R1R1101	化学概論 1	2		●		●		●		
	R1R1102	生物学概論 1	2		●		●		●		
	R1R1104	化学実験 (コンピュータ活用を含む)	1		●	●	●		●		
	R1R2050	○プロジェクト 3	1	○	○	○	○	●	●	○	●
	R1R2051	○プロジェクト 4	1	○	○	○	○	●	●	○	●
	S1R1020	確率科学	2		○		○	●	●	○	○
	S1R1030	○量子力学 1	2		○		○	○	●	●	○
	S1R1031	○量子力学 2	2		○		○	○	●	●	○
	S1R1070	天文学 1	2		○		○	○	●	●	○
	S1R1071	天体観測	2		○		○	○	●	●	○
	S1R2000	○解析力学 1	2		○		○	○	●	●	○
	S1R2001	○解析力学 2	2		○		○	○	●	●	○
	S1R2002	応用解析 1	2		○		○	○	●	●	○
	S1R2003	応用解析 2	2		○		○	○	●	●	○
	S1R2005	振動と波動	2		○		○	○	●	●	○
	S1R2006	流体と弾性体	2		○		○	○	●	●	○
	S1R2010	○電磁気学 1	2		○		○	○	●	●	○
	S1R2011	○電磁気学 2	2		○		○	○	●	●	○
	S1R2020	統計科学	2		○		○	○	●	●	○
S1R2050	生物物理学	2		○		○	○	●	●	○	
S1R2060	放射線物理学	2		○		○	○	●	●	○	
S1R2070	天文学 2	2		○		○	○	●	●	○	
S1R2080	○物理学実験 1 (コンピュータ活用を含む)	2	○	○	○	○	●	●	○	●	
S1R2081	○物理学実験 2	2	○	○	○	○	●	●	○	●	
3年	R1R1107	化学概論 2	2		●		●		●		
	R1R1108	生物学概論 2	2		●		●		●		
	R1R1109	生物学実験 (コンピュータ活用を含む)	1		●	●	●		●		
	R1R3050	○プロジェクト 5	1	○	○	○	○	●	●	○	●
	R1R3051	○プロジェクト 6	1	○	○	○	○	●	●	○	●
	S1R2007	計算物理学 1	2		○		○	○	●	●	○
	S1R2008	計算物理学 2	2		○		○	○	●	●	○
	S1R2021	○統計熱力学 1	2		○		○	○	●	●	○
	S1R2022	○統計熱力学 2	2		○		○	○	●	●	○
	S1R2023	離散代数	2		○		○	○	●	●	○
	S1R2030	量子力学 3	2		○		○	○	●	●	○
	S1R2051	物性物理学 1	2		○		○	○	●	●	○
	S1R2052	物性物理学 2	2		○		○	○	●	●	○
	S1R2061	原子核物理学	2		○		○	○	●	●	○
	S1R2062	原子物理学	2		○		○	○	●	●	○
	S1R2063	量子エレクトロニクス	2		○		○	○	●	●	○
	S1R2071	天体物理	2		○		○	○	●	●	○
	S1R3010	光学	2		○		○	○	●	●	○
	S1R3030	量子力学 4	2		○		○	○	●	●	○
S1R3060	素粒子物理学	2		○		○	○	●	●	○	
S1R3061	プラズマ物理	2		○		○	○	●	●	○	
S1R3070	相対性理論	2		○		○	○	●	●	○	
S1R3071	宇宙線	2		○		○	○	●	●	○	
4年	R1R3070	○卒業研究	8	○	○	○	○	●	○	○	●
	S1R2071	宇宙論	2		○		○	○	●	●	○
	S1R3050	応用物性	2		○		○	○	●	●	○
	S1R3090	ゼミナール 1	1	○	○	○	○	●	○	○	●
S1R3091	ゼミナール 2	1	○	○	○	○	●	○	○	●	

総合理工学科の教育課程体系図



生命科学・化学系のカリキュラムマップ

■カリキュラムマップの見方

この表は学科ごとに観点別に定めている学位授与方針【ディプロマポリシー（DP）】が卒業までに全て達成できるよう、バランスよく履修するツールとなるものです。学位授与方針とは、卒業時点での到達目標を表します。一番上には所属する学科の学位授与方針の番号が記載されており、どの科目で学位授与方針を達成するかを示しています（学位授与方針は下表参照）。

科目名の左側にあるアルファベットと数字は、ナンバリング（科目番号）といって、履修順序の目安となっています。また、○のついている科目は必修科目です。

各年次の履修科目の【◎】【●】記号は、各学位授与方針との関連度 [【◎】強く関連する / 【●】関連する] を表しています。

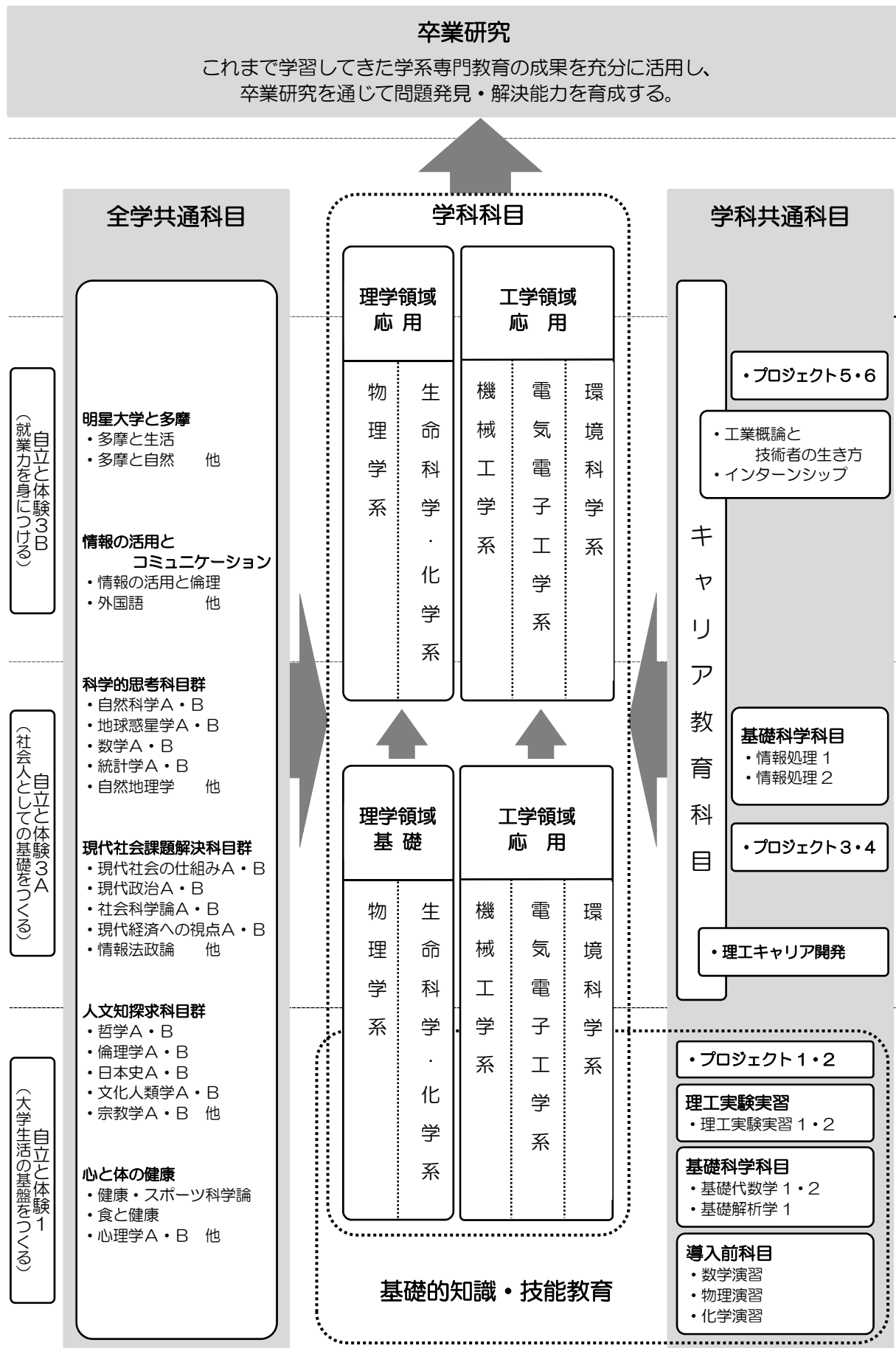
【学位授与方針】

【課題発見・解決】（実践躬行の体験教育を通じた統合的学修による課題発見・解決力）	
DP1	卒業研究を通して客観的な視点から課題を発見し、解決に至る方法を論理的に考えることができる。
【思考・判断】（グローバルな思考に基づく社会貢献）	
DP2	専門分野のみならず、関連分野にも積極的に関心を広げ、社会的要請に応えるための思考力を身に付けている。
DP3	大学教育を通して培った知識や技術を活かし、産業界への貢献に寄与することができる。
【関心・意欲・態度】（自己確立による社会貢献）	
DP4	グループワークを含めた講義、実験を通して、協調性及び課題解決に取り組む姿勢を身に付けている。
DP5	研究者・教育者として、倫理的な行動を取ることができる。
【知識・理解・表現】（社会を支える幅広い教養）	
DP6	専門科目での講義、実験から得た知識を基に、生命科学分野及び化学分野の基礎を理解している。
DP7	分子生物学を中心とした生命科学及び化学を体系的に理解し、産業界のみならず、社会全般における両分野の重要性を認識している。
DP8	論文や学会発表を通して学術成果を社会に発信し、還元できる能力を有している。
【技術・技能】（社会貢献に結びつく資格並びに特別な技術・技能）	
DP9	文献調査及び技術情報の収集を通じて、実践的な技術や思考能力を身に付けている。
DP10	講義やゼミナールを通して、英語による情報発信能力を身に付けている。

○：必修科目

学年	科目番号	科目名	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10
1年	R1R1010	○基礎代数学 1	2	●	●	●			○				
	R1R1011	○基礎解析学 1	2	●	●	●			○				
	R1R1012	基礎代数学 2	2	●	●	●			○				
	R1R1013	基礎解析学 2	2	●	●	●			○				
	R1R1030	○理工実験実習 1	2	●		●	●	●	●	●	●		○
	R1R1031	○理工実験実習 2	2	●		●	●	●	●	●	●		○
	R1R1050	○プロジェクト 1	1	●	○	●	○	●	○	●	●		○
	R1R1051	○プロジェクト 2	1	●	○	●	○	●	○	●	●		○
	S3R1021	○基礎化学 1	2	●					○	●			
	S3R1041	○基礎化学 2	2	●					○	●			
	S3R1051	○基礎生物学 1	2	●					○	●			
	S3R1052	○基礎生物学 2	2	●					○	●			
S3R1071	基礎現代物理	2	●					○	●				
2年	R1R1040	情報処理 1	2	●	●	●			○				
	R1R1041	情報処理 2	2	●	●	●			○				
	R1R1060	○理工キャリア開発	2		○	○		●		○			
	R1R1100	物理学概論 1	2		●				●				
	R1R1103	物理学実験 (コンピュータ活用を含む)	1	●	●	●	●	●	●			●	
	R1R2050	○プロジェクト 3	1	●		●						●	○
	R1R2051	○プロジェクト 4	1	●		●						●	○
	S3R2011	○無機化学 1	2	●					○	●			
	S3R2012	無機化学 2	2	●	●	●			●	○			
	S3R2021	○分析化学 1	2	●					○	●			
	S3R2022	分析化学 2	2	●	●	●			●	○			
	S3R2031	○物理化学 1	2	●					○	●			
	S3R2041	○有機化学 1	2	●					○	●			
	S3R2044	有機物性化学	2	●	●	●			●	○			
	S3R2051	○生化学 1	2	●					○	●			
	S3R2052	○分子生物学 1	2	●					○	●			
	S3R2053	生化学 2	2	●	●	●			●	○			
	S3R2054	微生物学	2	●	●	●			●	○			
S3R2061	○化学・生命科学実験 1	3	●	●		●	●	○	●	●	○	●	
S3R2062	○化学・生命科学実験 2	3	●	●		●	●	○	●	●	○	●	
S3R3041	有機化学 2	2	●	●	●			●	○				
3年	R1R1106	物理学概論 2	2		●				●				
	R1R1109	生物学実験 (コンピュータ活用を含む)	1	●	●	●	●	●	●			●	
	R1R3050	○プロジェクト 5	1	○				●	●	●	●	●	
	R1R3051	○プロジェクト 6	1	○				●	●	●	●	●	
	S3R2032	物理化学 2	2	●	●	●			●	○			
	S3R2043	有機反応化学	2	●	●	●			●	○			
	S3R3011	応用無機化学	2	●	●	●			●	○			
	S3R3012	錯体化学	2	●	●	●			●	○			
	S3R3013	無機材料化学	2	●	●	●			●	○			
	S3R3021	機器分析学	2	●	●	●			●	○			
	S3R3032	分子計算化学	2	●	●	●			●	○			
	S3R3033	応用物理化学	2	●	●	●			●	○			
	S3R3042	有機機能化学	2	●	●	●			●	○			
	S3R3043	生体物質化学	2	●	●	●			●	○			
	S3R3045	生体触媒化学	2	●	●	●			●	○			
	S3R3051	分子生物学 2	2	●	●	●			●	○			
	S3R3052	構造生物学	2	●	●	●			●	○			
	S3R3053	生命工学	2	●	●	●			●	○			
	S3R3054	高次生命機能学	2	●	●	●		●	●	○	●	○	
	S3R3061	○化学・生命科学実験 3	3	●	●		●	●	●	○	●	○	●
	S3R3062	○化学・生命科学実験 4	3	●	●		●	●	●	○	●	○	●
S3R3063	化学・生命科学特別演習	1	●		●		●	●	○		○		
S3R3071	○ナノ・バイオテクノロジー	2	●	●	●		●	●	○	●			
R1R3070	○卒業研究	8	○	●	●	●	○	●	●	○	○	○	
4年	S3R3073	○ゼミナール 1	1	○	●	●	●	○	●	●	○	○	○
	S3R3074	○ゼミナール 2	1	○	●	●	●	○	●	●	○	○	○

総合理工学科の教育課程体系図



機械工学系のカリキュラムマップ

■カリキュラムマップの見方

この表は学科ごとに観点別に定めている学位授与方針【ディプロマポリシー（DP）】が卒業までに全て達成できるよう、バランスよく履修するツールとなるものです。学位授与方針とは、卒業時点での到達目標を表します。一番上には所属する学科の学位授与方針の番号が記載されており、どの科目で学位授与方針を達成するかを示しています（学位授与方針は下表参照）。

科目名の左側にあるアルファベットと数字は、ナンバリング（科目番号）といって、履修順序の目安となっています。また、○のついている科目は必修科目です。

各年次の履修科目の【◎】【●】記号は、各学位授与方針との関連度 [【◎】強く関連する / 【●】関連する] を表しています。

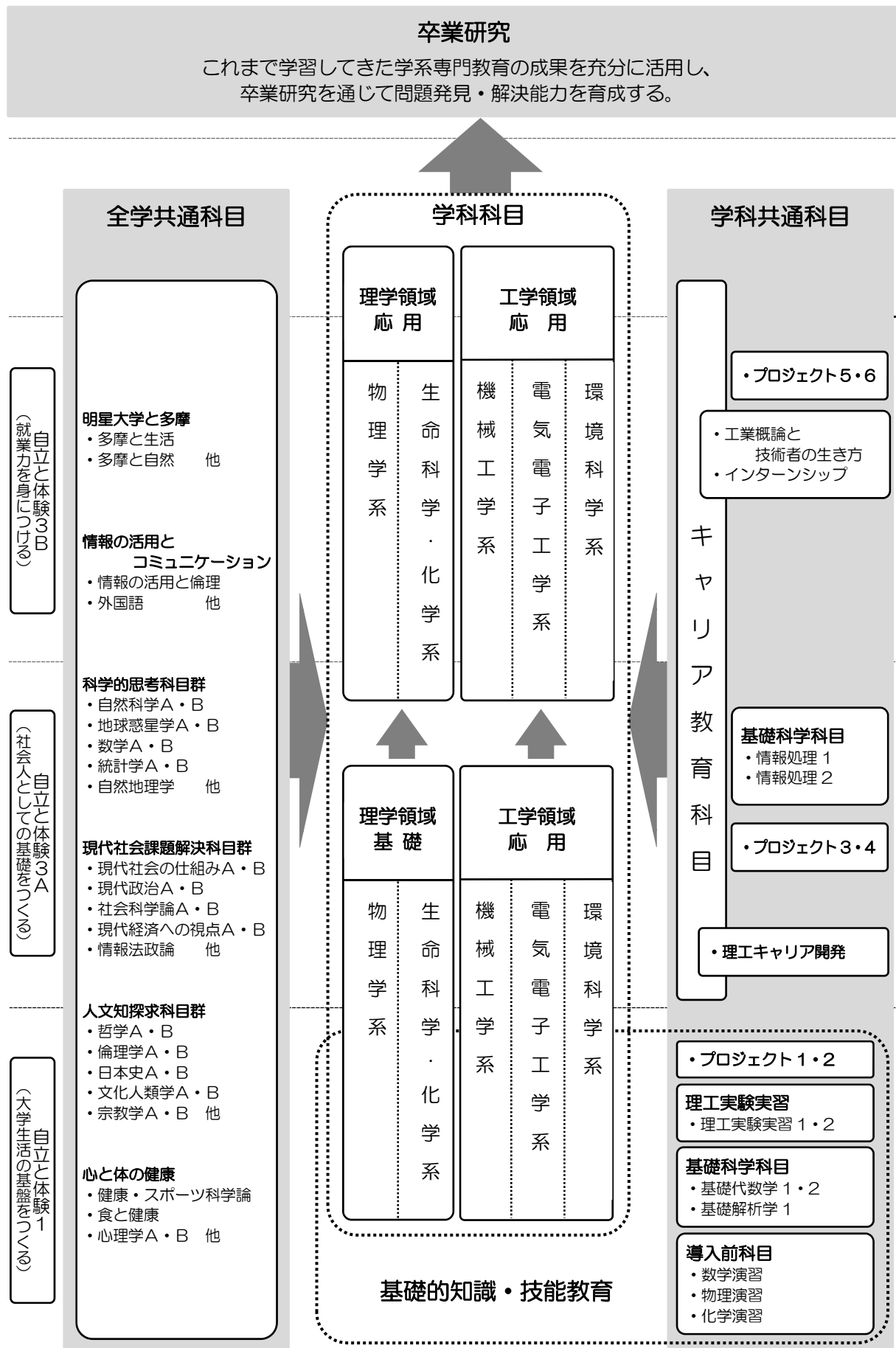
【学位授与方針】

	【課題発見・解決】（実践躬行の体験教育を通じた統合的学修による課題発見・解決力）
DP1	機械工学分野の課題を探求し、その課題を分析し、技術的解決への道筋を見つけ、解決することができる。
	【思考・判断】（グローバルな思考に基づく社会貢献）
DP2	関連する分野を理解し、判断・行動することができる。
	【関心・意欲・態度】（自己確立による社会貢献）
DP3	工学的な問題に対して倫理観・責任感をもって誠実に対応することができる。
	【知識・理解・表現】（社会を支える幅広い教養）
DP4	基礎となる物理学と数学を理解し、応用することができる。
DP5	専門領域において、基礎的知識から最新技術までを理解し、製品設計などに適用できる能力を身に付けている。
DP6	プレゼンテーションで自らの考えを端的に発表・説明することができる。
DP7	関連する研究分野の文章の読み書きや質問に対して、誠実に説明・議論することができる。
	【技術・技能】（社会貢献に結びつく資格並びに特別な技術・技能）
DP8	要求に応える性能を有した機械設計を行うことができる。
DP9	設計上の制約条件に基づいた計画を行い、時間的な制約も守ることができる。

○：必修科目

学年	科目番号	科目名	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9
1年	R1R1010	○基礎代数学 1	2				◎	●				
	R1R1011	○基礎解析学 1	2				◎	●				
	R1R1030	○理工実験実習 1	2		◎					●		
	R1R1031	○理工実験実習 2	2		◎					●		
	R1R1050	○プロジェクト 1	1	◎				●				
	R1R1051	○プロジェクト 2	1	◎				●				
2年	R1R1060	○理工キャリア開発	2		●	◎						
	R1R2050	○プロジェクト 3	1	●				◎	●	●		
	R1R2051	○プロジェクト 4	1	●				◎	●	●		
	T1R1000	○熱力学 1	2					◎			●	
	T1R1001	○材料力学 1	2					◎			●	
	T1R1002	○流体力学 1	2					◎			●	
	T1R1003	○機械力学 1	2					◎			●	
	T1R1004	○機械加工学 1	2					◎			●	
	T1R1006	○熱力学 2	2					◎			●	
	T1R1007	○材料力学 2	2					◎			●	
	T1R1008	○流体力学 2	2					◎			●	
	T1R1009	○機械力学 2	2					◎			●	
	T1R1020	○機械工学系基礎実験 1	2	◎					●	●		
	T1R1021	○機械工学系基礎実験 2	2	◎					●	●		
	T1R1030	○ものづくり 1	2	◎							●	●
	T1R1031	○ものづくり 2	2	◎							●	●
T1R1040	○機械製図	2								◎	●	
T1R1041	○3D-CAD	2								◎	●	
3年	R1R3050	○プロジェクト 5	1	●				◎	●	●		
	R1R3051	○プロジェクト 6	1	●				◎	●	●		
	T1R2020	○機械工学系実験 1	2	◎					●	●		
	T1R2021	○機械工学系実験 2	2	◎					●	●		
	T1R2040	○機械設計製図 1	2								◎	●
4年	R1R3070	○卒業研究	8	◎				●	●	●	●	●

総合理工学科の教育課程体系図



電気電子工学系のカリキュラムマップ

■カリキュラムマップの見方

この表は学科ごとに観点別に定めている学位授与方針【ディプロマポリシー（DP）】が卒業までに全て達成できるよう、バランスよく履修するツールとなるものです。学位授与方針とは、卒業時点での到達目標を表します。一番上には所属する学科の学位授与方針の番号が記載されており、どの科目で学位授与方針を達成するかを示しています（学位授与方針は下表参照）。

科目名の左側にあるアルファベットと数字は、ナンバリング（科目番号）といって、履修順序の目安となっています。また、○のついている科目は必修科目です。

各年次の履修科目の【◎】【●】記号は、各学位授与方針との関連度 [【◎】強く関連する / 【●】関連する] を表しています。

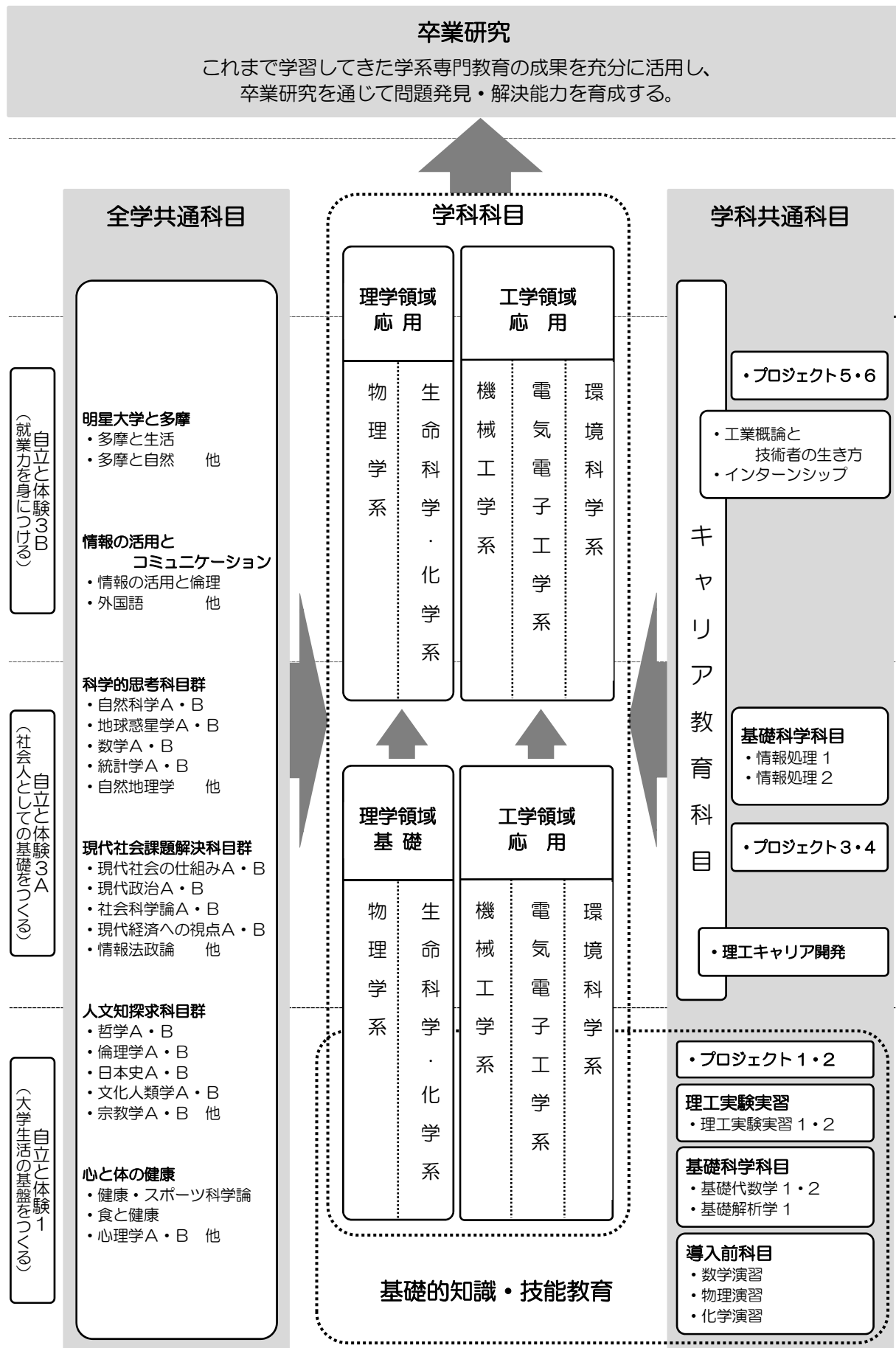
【学位授与方針】

【課題発見・解決】（実践躬行の体験教育を通じた統合的学修による課題発見・解決力）	
DP1	目標と現実の差異を客観視することで、課題を発見することができる。
DP2	発見した課題を、従来の経験や既存の理論をそのまま適用するのではなく、自身の力で実際に一つ一つ解決することができる。
【思考・判断】（グローバルな思考に基づく社会貢献）	
DP3	電気電子工学領域のみならず、さまざまな領域に関心を持ち、絶えず自己研鑽し、専門家としての姿勢を有している。
【関心・意欲・態度】（自己確立による社会貢献）	
DP4	物事を論理的に分析し、迅速に問題解決に向けた判断を行うことができる。
DP5	電気電子工学にとらわれない独創性や創造性に富む発想力を有している。
【知識・理解・表現】（社会を支える幅広い教養）	
DP6	電気電子工学領域の基礎知識群とそれを基礎とした研究活動から生じる学術成果を獲得している。
DP7	学術成果を社会に積極的に発信し、社会で生じている諸問題の解決に応用することができる。
DP8	異文化を理解するための幅広い教養を身に付けている。
【技術・技能】（社会貢献に結びつく資格並びに特別な技術・技能）	
DP9	設備・機器から得られた情報を有用化し、その中から規則性を論理的に分析し、必要な技術を生み出すことができる。
DP10	日本語による論理的な発表・討議を行う技術を有し、外国語においても実現可能なコミュニケーション能力を有している。

○：必修科目

学年	科目番号	科目名	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10
1年	R1R1000	数学演習	1						○				
	R1R1001	物理演習	1						○				
	R1R1010	○基礎代数学 1	2				●		○				
	R1R1011	○基礎解析学 1	2				●		○				
	R1R1012	基礎代数学 2	2				●		○				
	R1R1013	基礎解析学 2	2				●		○				
	R1R1030	○理工実験実習 1	2				●		○			●	
	R1R1031	○理工実験実習 2	2				●		○			●	
	R1R1050	○プロジェクト 1	1			○							●
	R1R1051	○プロジェクト 2	1		●	○							●
	T3R1000	基礎電気数学	2		○	●				●			
	T3R1002	電気数学	2		○	●				●			
	T3R1030	電気電子通信工学入門	2				●				●	○	
2年	R1R1040	情報処理 1	2				○		●			●	
	R1R1041	情報処理 2	2				○		●			●	
	R1R1060	○理工キャリア開発	2		●				○	●			
	R1R1105	コンピュータ入門	2		●				○				
	R1R2050	○プロジェクト 3	1		●				○			●	
	R1R2051	○プロジェクト 4	1		●				○			●	
	S1R2003	応用解析 2	2					●				○	
	S1R2021	統計科学	2					●				○	
	S1R2080	確率科学	2					●				○	
	T3R1004	○電気回路学	3	●	●				○				
	T3R1005	○基礎電磁気学	3	●	●				○				
	T3R1006	○交流回路学	3	●	●				○				
	T3R1007	○電磁気学	3	●	●				○				
	T3R1010	プログラミング基礎	2				●		○				
	T3R1012	デジタル制御	2					○	●				
	T3R1013	プログラミング応用	2				○		○				
	T3R1014	電子回路学	2	●	●				○				
	T3R1015	コンピュータ構成論	2	●	●				○				
	T3R1016	エネルギー工学	2					○	●	●			
	T3R1031	○電気電子実験	2				○					●	●
	T3R1032	電気電子実習 1	1				○					●	●
	T3R2030	電力電子実習 1	1		○					●	●		
	T3R2031	○情報通信実験	2				○					●	●
	T3R2032	情報通信実習 1	1				○					●	●

総合理工学科の教育課程体系図



環境科学系のカリキュラムマップ

■カリキュラムマップの見方

この表は学科ごとに観点別に定めている学位授与方針【ディプロマポリシー（DP）】が卒業までに全て達成できるよう、バランスよく履修するツールとなるものです。学位授与方針とは、卒業時点での到達目標を表します。一番上には所属する学科の学位授与方針の番号が記載されており、どの科目で学位授与方針を達成するかを示しています（学位授与方針は下表参照）。

科目名の左側にあるアルファベットと数字は、ナンバリング（科目番号）といって、履修順序の目安となっています。また、○のついている科目は必修科目です。

各年次の履修科目の【◎】【●】記号は、各学位授与方針との関連度 [【◎】強く関連する / 【●】関連する] を表しています。

【学位授与方針】

【課題発見・解決】（実践躬行の体験教育を通じた統合的学修による課題発見・解決力）	
DP1	環境問題における解決すべき具体的な課題を抽出・分析し、課題に関わる制約条件を考慮した解決策を計画的に立案することができる。
【思考・判断】（グローバルな思考に基づく社会貢献）	
DP2	人間社会と環境の関わりについて、地球的視点に立って観察する知識と環境を保全する行動力を備え、地域及び国際社会に貢献することができる。
【関心・意欲・態度】（自己確立による社会貢献）	
DP3	環境技術が社会の持続的発展の基本であることを認識している。
DP4	技術者倫理に基づき行動し、将来にわたり技術者として活躍するため持続的に研鑽し、他者と協働することができる。
【知識・理解・表現】（社会を支える幅広い教養）	
DP5	環境技術者に必要な基礎学力とその応用能力を有している。
DP6	環境技術分野において必要な専門的知識とその応用能力を有している。
DP7	環境技術分野の情報や意見を的確に理解し、他者に伝えることができる。
【技術・技能】（社会貢献に結びつく資格並びに特別な技術・技能）	
DP8	環境技術を応用するにあたり必要なハードウェア・ソフトウェアを利用する能力を有している。

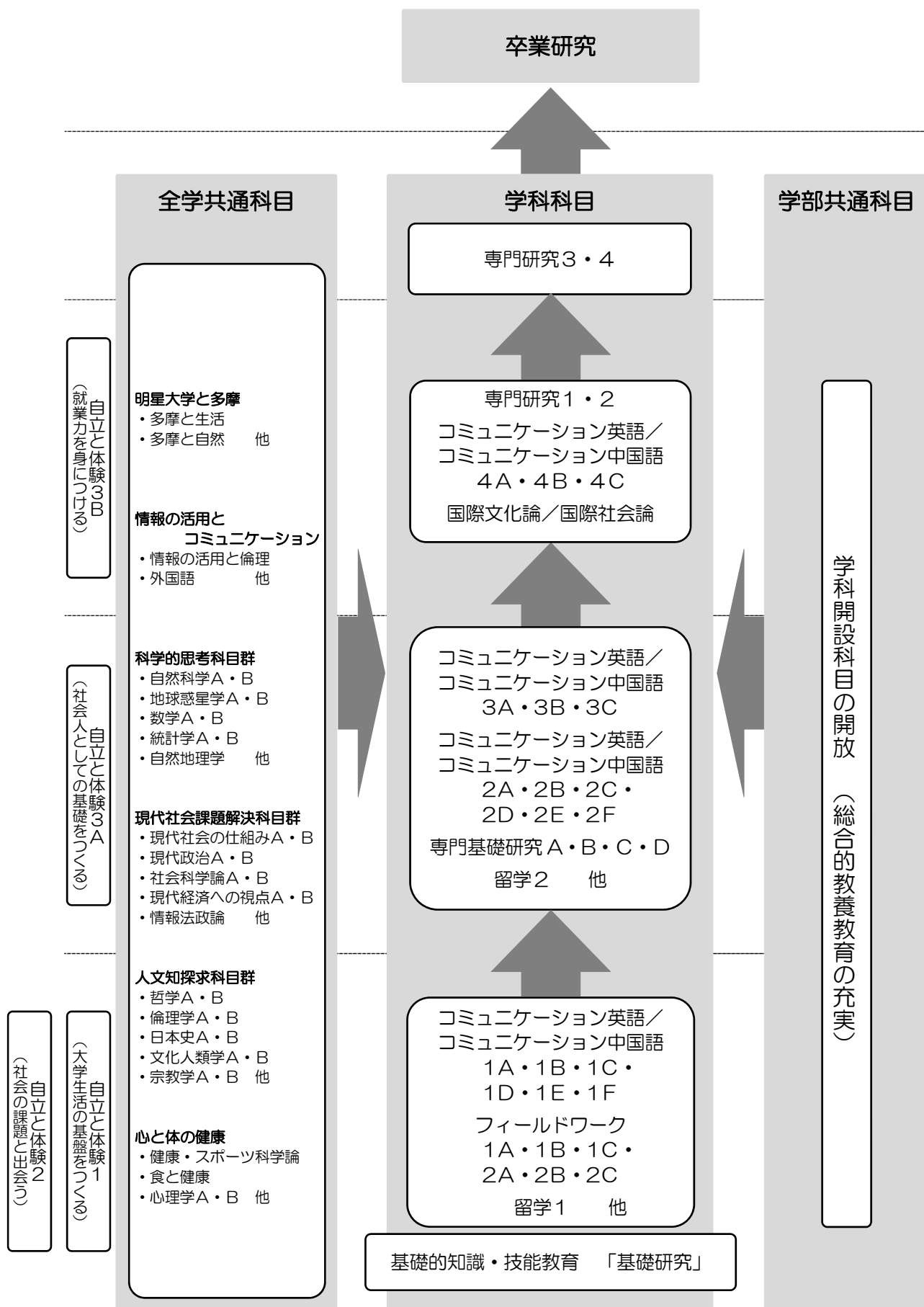
○：必修科目

学年	科目番号	科目名	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8
1年	R1R1000	数学演習	1			●	●	◎			●
	R1R1002	化学演習	1			●	●	◎			●
	R1R1010	○基礎代数学 1	2					◎			
	R1R1011	○基礎解析学 1	2					◎			
	R1R1012	基礎代数学 2	2					◎			
	R1R1013	基礎解析学 2	2					◎			
	R1R1030	○理工実験実習 1	2					◎	●		●
	R1R1031	○理工実験実習 2	2						●	●	◎
	R1R1050	○プロジェクト 1	1	●			◎			◎	
	R1R1051	○プロジェクト 2	1	◎			●			●	
	T7R1020	○環境基礎ゼミ	1			●	◎	●			
	T7R1021	○基礎環境学 1	2	●	◎						
	T7R1022	○基礎環境学 2	2		●	●	●		◎		
2年	R1R1040	情報処理 1	2					◎			●
	R1R1041	情報処理 2	2					◎			●
	R1R1100	物理学概論 1	2					●	●		
	R1R1102	生物学概論 1	2					●	●		
	R1R1103	物理学実験（コンピュータ活用を含む）	1					●	●		●
	R1R2050	○プロジェクト 3	1	◎	●	●	●				
	R1R2051	○プロジェクト 4	1	◎				◎			
	T7R2020	○環境情報処理	2					◎	●		
	T7R2021	環境協力事例	2		◎	●	●		◎		
	T7R2022	環境経済学	2		◎			●	●		
	T7R2030	○気象・熱環境学	2					◎	●		
	T7R2031	地球環境学	2	●		●	●	●	◎		
	T7R2032	○大気環境学	2	◎				●	●		
	T7R2033	地球惑星ダイナミクス概論	2		◎			●	●		
	T7R2040	○都市環境計画	2		●				◎		
	T7R2041	都市環境保全	2					●	◎		●
	T7R2050	○環境微生物学	2					◎	●		
	T7R2051	○水・土壌環境学	2					●	◎		
	T7R2052	○廃棄物学	2					●	◎	●	●
	T7R2053	基礎生態学	2	●				●	◎		
	T7R2054	群集生態学	2					◎	●		
	T7R2055	水・土壌汚染制御	2	●					◎		
	T7R2060	○基礎環境化学	2					◎	●		●
	T7R2061	応用環境化学	2					◎	◎		
	T7R2062	環境化学実験	2					◎	◎		

○：必修科目

学年	科目番号	科目名	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8
3年	R1R1106	物理学概論 2	2					●	●		
	R1R1108	生物学概論 2	2					●	●		
	R1R1109	生物学実験 (コンピュータ活用を含む)	1					●	●		●
	R1R3050	○プロジェクト 5	1	●					●		◎
	R1R3051	○プロジェクト 6	1	◎					●	●	
	R1R3060	インターンシップ	2	●			◎			◎	
	R1R3061	○工業概論と技術者の生き方	2		●	◎	◎				
	T7R3020	○環境アセスメント	2	◎		●	●			◎	
	T7R3022	環境政策論	2		●	●	●			◎	
	T7R3030	環境流体解析	2					●	◎		
	T7R3031	大気・熱汚染制御	2					●	◎		
	T7R3041	都市管理論	2	●						◎	
	T7R3050	景観生態学	2		●			●	◎		
	T7R3051	環境バイオ・エコテクノロジー	2	●				◎	●		
	T7R3052	水・土壌分析実験	2				●		●	●	◎
	T7R3053	廃棄物管理	2							◎	
	T7R3054	環境微生物実験	2						●	●	◎
	T7R3055	環境衛生学	2	●						◎	
	T7R3056	資源リサイクル学	2	●						◎	●
	T7R3057	環境水理学	2	●					◎	●	
	T7R3060	環境分析化学	2		●	●	●	●	●	◎	
	T7R3061	環境機器分析実験	2						◎	●	
	T7R3062	環境材料学	2						●	◎	●
4年	R1R3070	○卒業研究	8	◎	●	●	◎	●	◎	●	◎
	T7R3021	○環境総合科学	2			●	●	●	◎		
	T7R3091	○ゼミナール 1	1	●			●	●	●	●	●
	T7R3092	○ゼミナール 2	1	●			●	●	●	●	●

人文学部 国際コミュニケーション学科の教育課程体系図



国際コミュニケーション学科のカリキュラムマップ

■カリキュラムマップの見方

この表は学科ごとに観点別に定めている学位授与方針【ディプロマポリシー（DP）】が卒業までに全て達成できるよう、バランスよく履修するツールとなるものです。学位授与方針とは、卒業時点での到達目標を表します。一番上には所属する学科の学位授与方針の番号が記載されており、どの科目で学位授与方針を達成するかを示しています（学位授与方針は下表参照）。

科目名の左側にあるアルファベットと数字は、ナンバリング（科目番号）といって、履修順序の目安となっています。また、○のついている科目は必修科目です。

各年次の履修科目の【◎】【●】記号は、各学位授与方針との関連度 [【◎】強く関連する / 【●】関連する] を表しています。

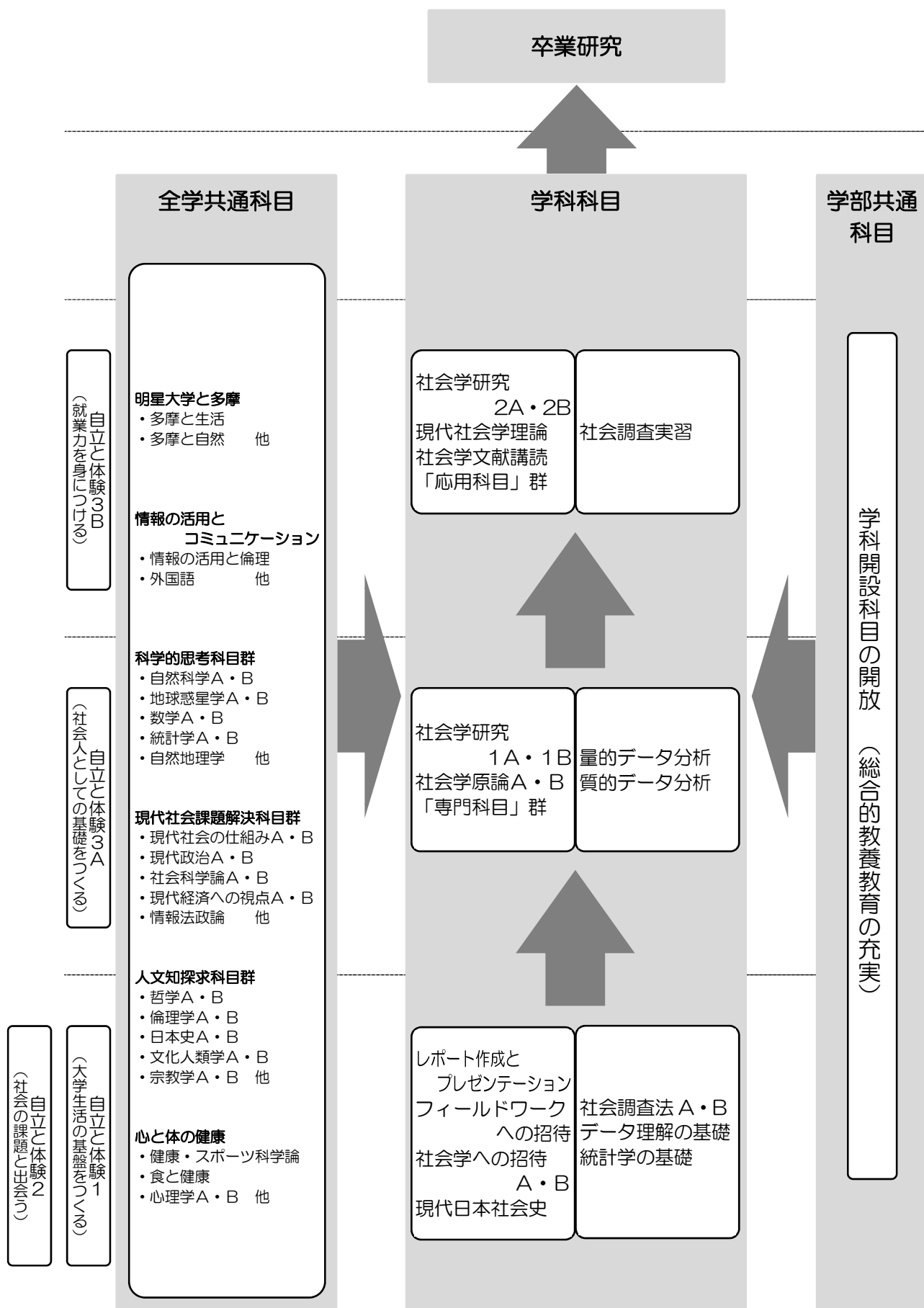
【学位授与方針】

【課題発見・解決】（実践躬行の体験教育を通じた統合的学修による課題発見・解決力）	
DP1	主体性と目的意識をもって情報を収集・分析し、課題を発見することができる。
DP2	知識・技術・技能を総合的に活用し、主体的・積極的に課題解決に取り組むことができる。
【思考・判断】（グローバルな思考に基づく社会貢献）	
DP3	様々な目的・場面に応じて、柔軟に思考・判断することができる。
DP4	幅広く多様な視点に立ち、矛盾や問題点を明らかにする分析能力と、問題解決に主体的に取り組む実践力を有している。
【関心・意欲・態度】（自己確立による社会貢献）	
DP5	他者と協調・協働するための円滑なコミュニケーションを図ることができる。
DP6	遵法精神をもって、組織で問題解決を図ることができる。
【知識・理解・表現】（社会を支える幅広い教養）	
DP7	異文化を理解し、言語・文化的な幅広い知見・教養を備えたコミュニケーション能力を身に付けている。
DP8	組織や社会で必要となる文章の読解と作成ができる。
【技術・技能】（社会貢献に結びつく資格並びに特別な技術・技能）	
DP9	グローバル化した社会において、日本語、英語又は中国語の言語システムを理解し、活用できる。

○：必修科目

学年	科目番号	科目名	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	
2年	H1H1102	○専門基礎研究A	2	◎	●	●	●	●			◎		
	H1H1103	○専門基礎研究B	2	◎	●	●	●	●			◎		
	H1H2201	コミュニケーション英語2 A	1					●		◎		◎	
	H1H2202	コミュニケーション英語2 B	1					●		◎		◎	
	H1H2203	コミュニケーション英語2 C	1					●		◎		◎	
	H1H2204	コミュニケーション英語2 D	1					●		◎		◎	
	H1H2205	コミュニケーション英語2 E	1					●		◎		◎	
	H1H2206	コミュニケーション英語2 F	1					●		◎		◎	
	H1H2207	コミュニケーション中国語2 A	1					●		◎		◎	
	H1H2208	コミュニケーション中国語2 B	1					●		◎		◎	
	H1H2209	コミュニケーション中国語2 C	1					●		◎		◎	
	H1H2210	コミュニケーション中国語2 D	1					●		◎		◎	
	H1H2211	コミュニケーション中国語2 E	1					●		◎		◎	
	H1H2212	コミュニケーション中国語2 F	1					●		◎		◎	
	H1H2301	英語学C	2										
	H1H2302	英語学D	2										
	H1H2303	英語コミュニケーション論2	2			●	●	●			◎		◎
	H1H2304	中国語コミュニケーション論2	2								◎		◎
	H1H2305	中国語コミュニケーション論3	2								◎		
	H1H2306	コミュニケーション論2 A	2								◎		◎
	H1H2307	コミュニケーション論2 B	2								◎		◎
	H1H2308	コミュニケーション論3	2								◎		◎
	H1H2309	コミュニケーション英語3 A	1								◎		
	H1H2310	コミュニケーション英語3 B	1								◎		
	H1H2311	コミュニケーション英語3 C	1								◎		
	H1H2312	コミュニケーション中国語3 A	1								◎		
	H1H2313	コミュニケーション中国語3 B	1								◎		
	H1H2314	コミュニケーション中国語3 C	1								◎		
	H1H2315	グローバル研究2	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎	●	
	H1H2316	留学2	2	◎	●	●	●				◎		
	H1H2317	映像翻訳2 A (理論)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	H1H2318	映像翻訳2 B (理論)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	H1H2319	映像翻訳2 C (実習)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
H1H2320	サマースクール2 A (理論)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
H1H2321	サマースクール2 B (理論)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
H1H2322	サマースクール2 C (実習)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
H1H2323	フィールドワーク3 A (理論)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
H1H2324	フィールドワーク3 B (理論)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
H1H2325	フィールドワーク3 C (実習)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
H1H2326	日本語教育法1	2								◎		◎	
H1H2327	日本語教育法2	2								◎		◎	
H1H2328	児童英語教育法	2								◎		◎	
H1H2329	専門基礎研究C	2	◎	●	●	●	◎	●			◎		
H1H2330	専門基礎研究D	2	◎	●	●	●	◎	●			◎		
3年	H1H3101	○専門研究1	2	◎	◎	●	●	●	●		◎		
	H1H3102	○専門研究2	2	◎	◎	●	●	●	●		◎		
	H1H3301	コミュニケーション英語4 A	1					●		◎		◎	
	H1H3302	コミュニケーション英語4 B	1					●		◎		◎	
	H1H3303	コミュニケーション英語4 C	1							◎		◎	
	H1H3304	コミュニケーション中国語4 A	1					●		◎		◎	
	H1H3305	コミュニケーション中国語4 B	1					●		◎		◎	
	H1H3306	コミュニケーション中国語4 C	1							◎		◎	
	H1H3307	サマースクール3 A (理論)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	H1H3308	サマースクール3 B (理論)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	H1H3309	サマースクール3 C (実習)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	H1H3310	国際文化論	2	◎	◎	●	◎	◎			◎	◎	●
H1H3311	国際社会論	2	◎	◎	◎	◎	●			●	●		
4年	H1H3103	○専門研究3	2	◎	◎	●	●	●	●		◎		
	H1H3104	○専門研究4	2	◎	◎	●	●	●	●		◎		
	H1H3105	○卒業研究	8	◎	◎	●	●		●		◎		

人文学部 人間社会学科の教育課程体系図



人間社会学科のカリキュラムマップ

■カリキュラムマップの見方

この表は学科ごとに観点別に定めている学位授与方針【ディプロマポリシー（DP）】が卒業までに全て達成できるよう、バランスよく履修するツールとなるものです。学位授与方針とは、卒業時点での到達目標を表します。一番上には所属する学科の学位授与方針の番号が記載されており、どの科目で学位授与方針を達成するかを示しています（学位授与方針は下表参照）。

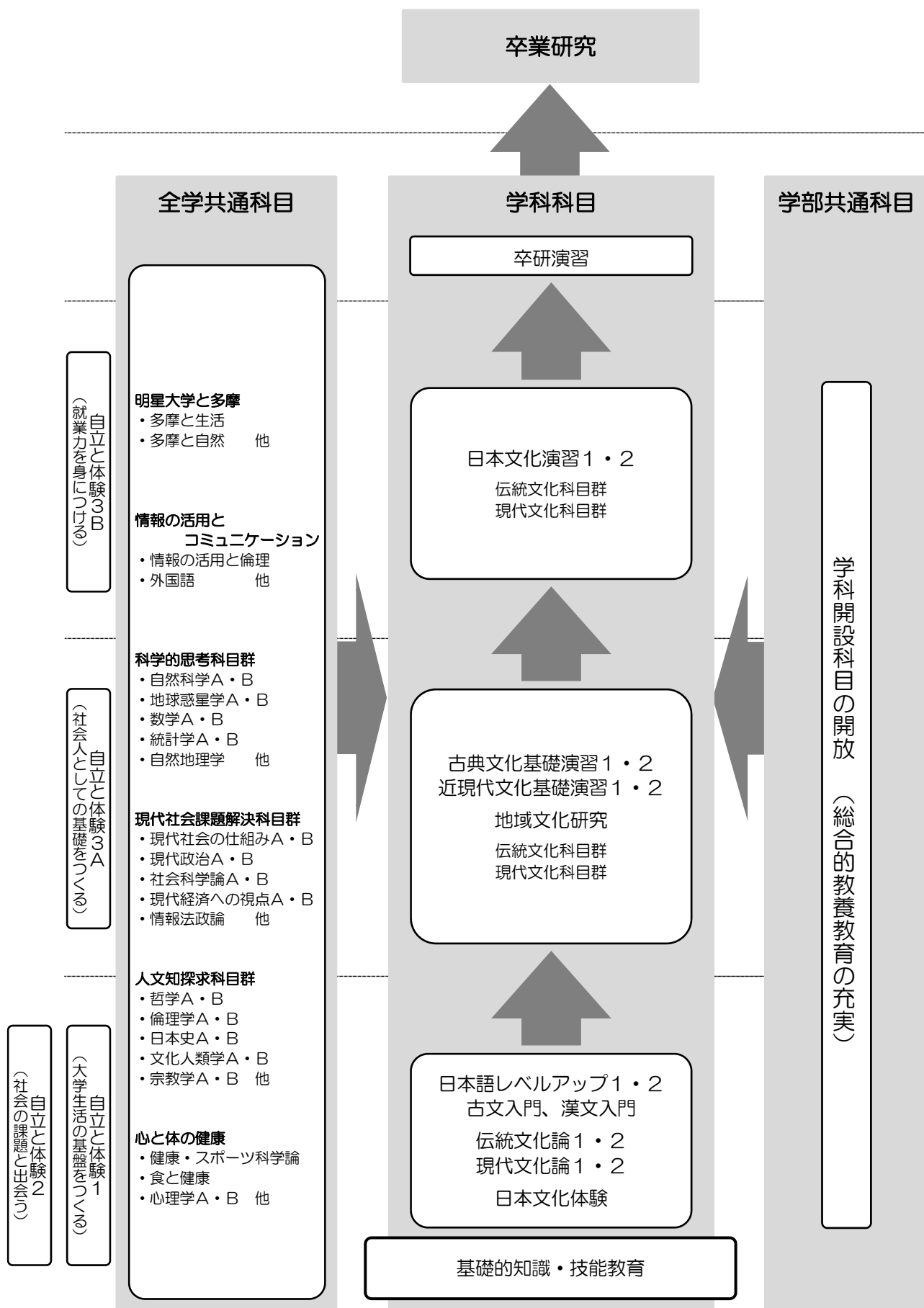
科目名の左側にあるアルファベットと数字は、ナンバリング（科目番号）といって、履修順序の目安となっています。また、○のついている科目は必修科目です。

各年次の履修科目の【◎】【●】記号は、各学位授与方針との関連度 [【◎】強く関連する / 【●】関連する] を表しています。

【学位授与方針】

【課題発見・解決】（実践躬行の体験教育を通じた統合的学修による課題発見・解決力）	
DP1	現実の社会的な問題を認識し、問題に対処することができる。
【思考・判断】（グローバルな思考に基づく社会貢献）	
DP2	社会的事象を、広い視野から論理的に考察することができる。
【関心・意欲・態度】（自己確立による社会貢献）	
DP3	自分の考えを明確にすることができる。
DP4	多様な他者と協働して、問題解決にあたることができる。
DP5	不断に自分の人生をデザインすることができる。
【知識・理解・表現】（社会を支える幅広い教養）	
DP6	社会学の専門的知識を修得している。
DP7	多様な他者の存在を理解することができる。
DP8	自分の考えを他者に伝えることができる。
【技術・技能】（社会貢献に結びつく資格並びに特別な技術・技能）	
DP9	社会調査の技法を理解し、活用することができる。
DP10	社会的事象を、実証的に分析することができる。

人文学部 日本文化学科の教育課程体系図



日本文化学科のカリキュラムマップ

■カリキュラムマップの見方

この表は学科ごとに観点別に定めている学位授与方針【ディプロマポリシー（DP）】が卒業までに全て達成できるよう、バランスよく履修するツールとなるものです。学位授与方針とは、卒業時点での到達目標を表します。一番上には所属する学科の学位授与方針の番号が記載されており、どの科目で学位授与方針を達成するかを示しています（学位授与方針は下表参照）。

科目名の左側にあるアルファベットと数字は、ナンバリング（科目番号）といって、履修順序の目安となっています。また、○のついている科目は必修科目です。

各年次の履修科目の【◎】【●】記号は、各学位授与方針との関連度 [【◎】強く関連する / 【●】関連する] を表しています。

【学位授与方針】

	【課題発見・解決】（実践躬行の体験教育を通じた統合的学修による課題発見・解決力）
DP1	体験学習及び演習等での能動的な学修を通じ、伝統文化の保存や現代文化の活性化のための課題を見つけ、それを解決することができる。
	【思考・判断】（グローバルな思考に基づく社会貢献）
DP2	日本の伝統文化の形成過程について正しく理解し、日本の伝統文化の多様性を具体的に述べるができる。
DP3	日本の代表的な作品や文章を自らの力で正確に読解できる。
	【関心・意欲・態度】（自己確立による社会貢献）
DP4	日本の伝統文化とその多様性に興味を持ち、体験を通じて学ぶ姿勢を有している。
DP5	日本の現代文化及びそれに影響を与えた外国文化に強い興味・関心を寄せることができる。
	【知識・理解・表現】（社会を支える幅広い教養）
DP6	日本語のしくみについての基本的な知識を身に付けている。
DP7	海外を含む多様な人とコミュニケーションがとれ、自分の理解や意見を正確に発信できる。
	【技術・技能】（社会貢献に結びつく資格並びに特別な技術・技能）
DP8	日本の伝統文化における課題について説明することができる。
DP9	外国文化との交流を踏まえて、日本の現代文化の課題について説明することができる。

○：必修科目

学年	科目番号	科目名	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	
1年	H2H1001	○日本語レベルアップ1	1			●			◎	●			
	H2H1002	○日本語レベルアップ2	1			●			◎	●			
	H2H1201	○伝統文化論1	2		◎		●				●		
	H2H1202	○伝統文化論2	2		◎		●				●		
	H2H1203	○古文入門	2		●				◎		●		
	H2H1204	○漢文入門	2		●				◎		●		
	H2H1205	○日本文化体験	2	◎	●		●						
	H2H1211	歴史入門A（日本の歩み）	2		◎							●	
	H2H1212	歴史文化論	2		◎								●
	H2H1213	対外交流論	2					●				●	◎
	H2H1221	漢文学1	2		◎							●	
	H2H1222	漢文学2	2		◎							●	
	H2H1223	くずし字入門1	2	◎						●			
	H2H1301	○現代文化論1	2						◎	●			
	H2H1302	○現代文化論2	2						◎	●			
	H2H1311	歴史入門B（西洋と日本）	2									●	◎
	H2H1321	日本文学概論	2		●	◎							
	H2H1322	比較文学概論	2		●				◎				
	H2H1323	日本人と外国語	2						◎				●
	H2H1324	翻訳論	2						◎				●
	H2H1331	言語学概論	2						◎	●			●
	H2H1332	日本語学	2			●			◎				
	H2H1333	日本語音声学	2	●					◎				
	H2H1341	サブカルチャー論1	2						●				◎
	H2H1342	サブカルチャー論2	2						●				◎
	H2H1343	視覚文化論	2						●				◎
	H2H1344	メディア文化論	2				●	◎			●		

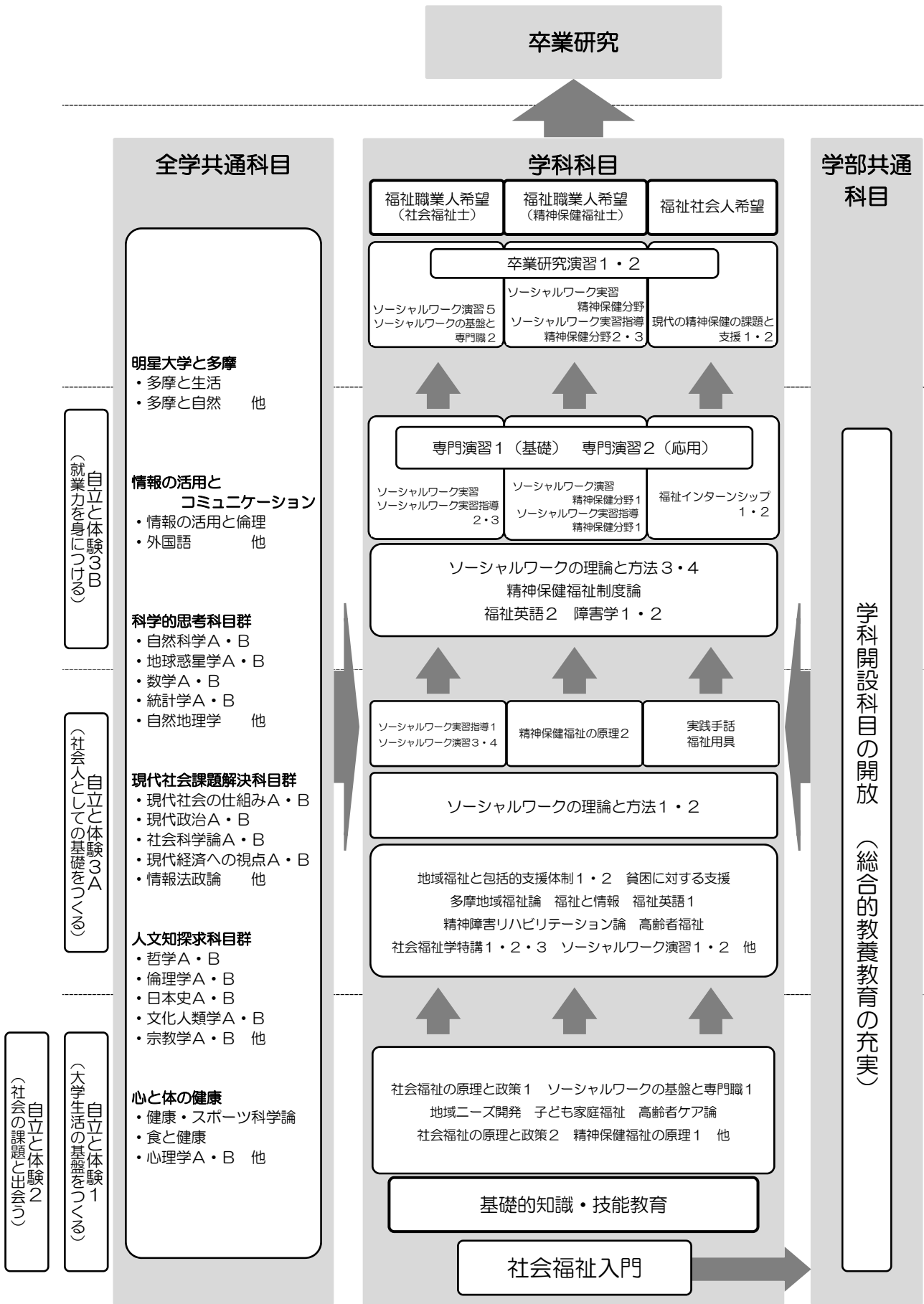
○：必修科目

学年	科目番号	科目名	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9
2年	H2H1206	書道 1	2	◎	●							
	H2H1207	書道 2	2	◎	●							
	H2H1325	日本文学の歴史 B (近現代)	2			◎	●		●			
	H2H2051	身体表現文化	2	◎			◎					
	H2H2201	○古典文化基礎演習 1	1		●		◎					
	H2H2202	○古典文化基礎演習 2	1		●		◎					
	H2H2211	日本宗教文化論	2		◎			●				●
	H2H2221	古文精読 1	2			◎			●			
	H2H2222	古文精読 2	2			◎			●			
	H2H2223	漢文精読 1	2			◎			●			
	H2H2224	漢文精読 2	2			◎			●			
	H2H2225	日本文学の歴史 A (古典)	2		●	◎						●
	H2H2226	くずし字入門 2	2	◎					●			
	H2H2231	日本語文法 A (古典)	2						◎		●	
	H2H2232	平安文化論	2		◎						●	
	H2H2241	日本・東洋美術史 A (古代から近世)	2		◎						●	
	H2H2242	西洋美術史 A (古代から近世)	2		◎							●
	H2H2301	○近現代文化基礎演習 1	1					◎			●	
	H2H2302	○近現代文化基礎演習 2	1					◎			●	
	H2H2303	地域文化研究	2	◎			◎					◎
	H2H2304	編集工学	2	◎						●		
	H2H2321	近代文学	2			◎	●		●			
	H2H2322	現代文学	2			◎	●		●			
	H2H2331	日本語文法 B (現代)	2			◎		●				
	H2H2332	日本語表現法	2							◎		●
	H2H2333	日本語教育	2						◎	●		
	H2H2334	社会言語学	2					●	◎			
	H2H2341	日本・東洋美術史 B (近現代)	2		●		◎					
	H2H2342	西洋美術史 B (近現代)	2		●							◎
	H2H2343	映画芸術論	2						●			◎

○：必修科目

学年	科目番号	科目名	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9
3年	H2H3211	史料で読む日本	2		●		◎				●	
	H2H3212	古文書学	2	●			◎					
	H2H3213	書誌学	2	●			◎				●	
	H2H3221	和歌文学	2		●	◎			●			
	H2H3222	伝統芸能の歴史	2		◎		◎					
	H2H3231	日本語の歴史	2			●			◎			
	H2H3232	江戸文化論	2		●	◎					●	
	H2H3301	デジタル編集論	2	◎						●		
	H2H3302	DTP編集	2	◎						●		
	H2H3351	舞台芸術論	2		◎							●
	H2H3401	○日本文化演習 1	1				◎			●		
	H2H3402	○日本文化演習 2	1				◎			●		
	H2H3411	日本文化特講 1 A	2	●			◎				●	
	H2H3412	日本文化特講 2 A	2	●			◎				●	
	H2H3413	日本文化特講 1 B	2	●			◎				●	
	H2H3414	日本文化特講 2 B	2	●			◎				●	
	H2H3415	日本文化特講 1 C	2	●			◎				●	
	H2H3416	日本文化特講 2 C	2	●			◎				●	
H2H3417	日本文化特講 1 D	2	●			◎				●		
H2H3418	日本文化特講 2 D	2	●			◎				●		
4年	H2H3501	○卒研演習 1	1				●			◎		
	H2H3502	○卒研演習 2	1				●			◎		
	H2H3503	○卒業研究	8				●			◎		

人文学部 福祉実践学科の教育課程体系図



福祉実践学科のカリキュラムマップ

■カリキュラムマップの見方

この表は学科ごとに観点別に定めている学位授与方針【ディプロマポリシー（DP）】が卒業までに全て達成できるよう、バランスよく履修するツールとなるものです。学位授与方針とは、卒業時点での到達目標を表します。一番上には所属する学科の学位授与方針の番号が記載されており、どの科目で学位授与方針を達成するかを示しています（学位授与方針は下表参照）。

科目名の左側にあるアルファベットと数字は、ナンバリング（科目番号）といって、履修順序の目安となっています。また、○のついている科目は必修科目です。

各年次の履修科目の【◎】【●】記号は、各学位授与方針との関連度 [【◎】強く関連する / 【●】関連する] を表しています。

【学位授与方針】

【課題発見・解決】（実践躬行の体験教育を通じた統合的学修による課題発見・解決力）	
DP1	多様な実践の場で自ら地域社会における福祉的課題を発見し、それを解決することができる。
【思考・判断】（グローバルな思考に基づく社会貢献）	
DP2	社会福祉の視点をもとに、社会的倫理及び国際化に対応する幅広い視野と多様性を受け入れる創造的 思考力及び判断力を修得している。
DP3	福祉専門職あるいは福祉を学んだ人材として、誰もが住みやすい地域社会づくりに関するニーズの着 眼力を修得している。
【関心・意欲・態度】（自己確立による社会貢献）	
DP4	学生同士並びに教職員、当事者、福祉専門職、企業職員、地域住民との人格接触を伴う学修を通じ、 自己を律すると共に自己を確立している。
DP5	自らの目標を明確に定め、福祉専門職あるいは福祉を学んだ人材として、社会に貢献することができる。
【知識・理解・表現】（社会を支える幅広い教養）	
DP6	多様な価値観を受け入れることができる福祉を学んだ人材に相応しい幅広い教養を修めている。
DP7	体験的な学びを通して、福祉分野の知識・技能を能動的に修得している。
【技術・技能】（社会貢献に結びつく資格並びに特別な技術・技能）	
DP8	国内外の社会に貢献しうる、多様なコミュニケーション能力及び、ネットワーク形成や問題解決に関 わる技術・技能を修得している。
DP9	社会福祉士をはじめ、精神保健福祉士、スクールソーシャルワーカー等の福祉分野の資格取得に求め られる基本的な技術・技能を身に付けている。

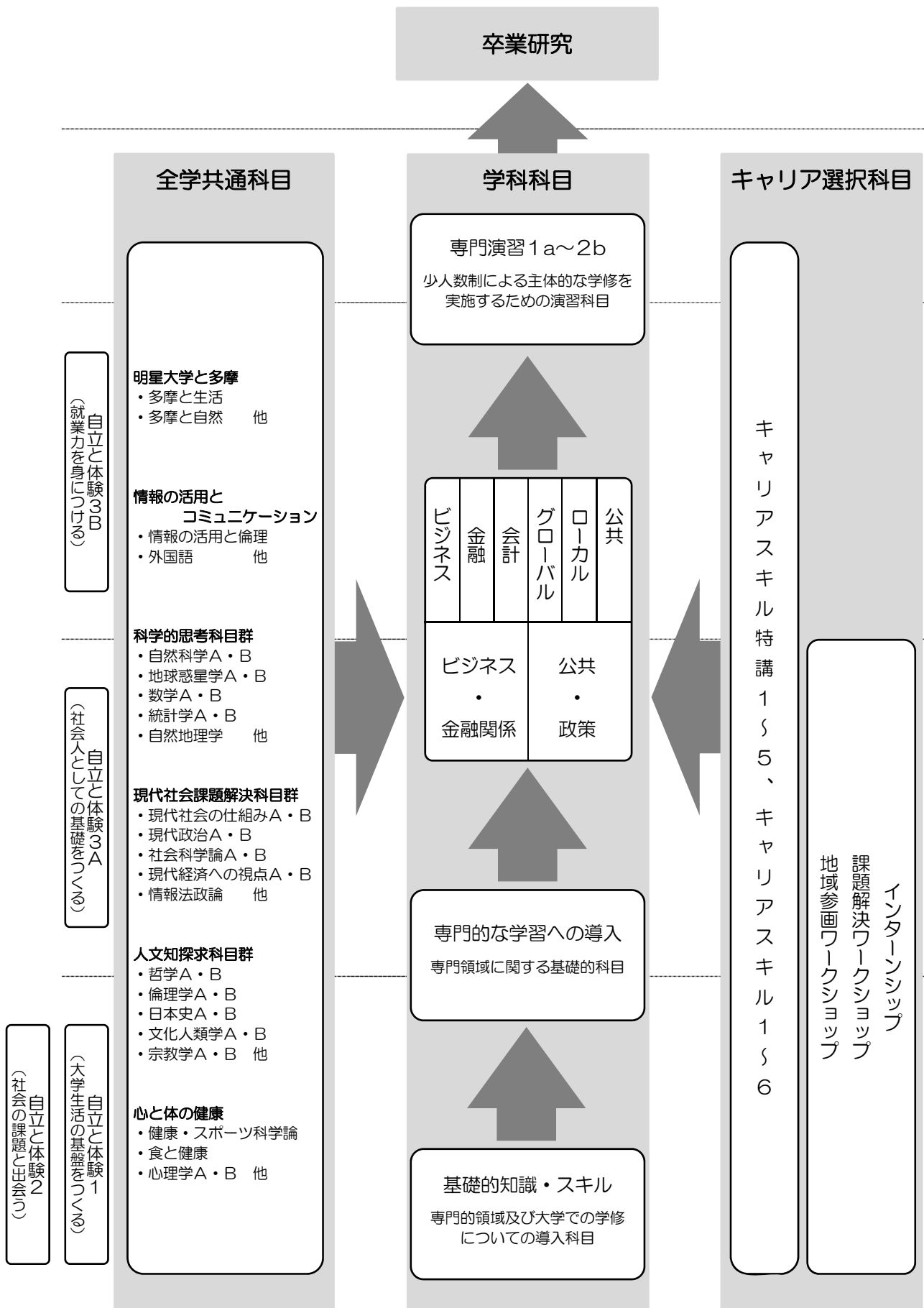
○：必修科目

学年	科目番号	科目名	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9
1年	H4H1010	○社会福祉入門	2			◎	◎					
	H4H1011	○社会福祉の原理と政策 1	2	◎	●			◎	●			
	H4H1012	○ソーシャルワークの基盤と専門職 1	2	◎		●						
	H4H1015	○地域ニーズ開発	2	●		◎			●			
	H4H1016	○ソーシャルワークの理論と方法 1	2							◎		
	H4H1013	心理学と心理的支援	2		●						◎	●
	H4H1014	子ども家庭福祉	2					●	●			◎
	H4H1017	社会福祉の原理と政策 2	2	◎	●			◎	●			
	H4H1018	社会学と社会システム	2						◎			
	H4H1019	福祉用具	2			●		●		◎	●	
	H4H1020	高齢者ケア論	2	●							◎	●
	H4H1021	医学概論	2		●			◎		●		
	H4H1022	精神保健福祉の原理 1	2	●						◎		●
2年	H4H2010	○ソーシャルワークの理論と方法 2	2							◎		
	H4H2011	保健医療と福祉	2	◎	●	●		●				
	H4H2012	障害者スポーツ論	2	◎		●			●			
	H4H2013	マイノリティ論	2		◎				●			
	H4H3010	権利擁護を支える法制度	2			◎		●	●			
	H4H2014	実践手話	2					●		●	●	
	H4H2015	ソーシャルワーク演習 1	1			◎				◎	●	●
	H4H2016	ソーシャルワーク演習 2	1							●	●	◎
	H4H2017	ソーシャルワーク演習 3	1	●						●	●	◎
	H4H2018	ソーシャルワーク演習 4	1	●		●					●	◎
	H4H2019	貧困に対する支援	2	◎	●	●						
	H4H1025	多摩地域福祉論	2			●		●		◎		
	H4H1024	福祉と情報	2					●		●	◎	
	H4H2020	地域福祉と包括的支援体制 1	2				◎				◎	◎
	H4H2021	地域福祉と包括的支援体制 2	2				◎				◎	◎
	H4H2022	社会福祉学特講 1 (福祉住環境論)	2	●		●		●				
	H4H2023	社会福祉学特講 2 (プレインターンシップ)	2	●			◎			◎		
	H4H2024	社会福祉学特講 3 (海外福祉事情)	2		◎				●			
	H4H2025	障害学 1	2		●	◎			●			
	H4H2026	障害学 2	2			●			●		◎	
	H4H1023	福祉英語 1	2		◎				●			
	H4H2027	高齢者福祉	2	◎		●		●				
	H4H2028	ソーシャルワーク実習指導 1	2		●					◎		◎
	H4H2029	ソーシャルワークの理論と方法 3	2							◎		
	H4H3011	精神医学と精神医療 1	2		●			◎				●
	H4H3012	精神医学と精神医療 2	2		●			◎				●
	H4H3013	精神保健福祉の原理 2	2	◎		◎				●		
H4H3014	精神障害リハビリテーション論	2	●						◎		●	
H4H3015	精神保健福祉制度論	2	●			◎			◎		●	

○：必修科目

学年	科目番号	科目名	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9
3年	H4H2030	○専門演習1（基礎）	1				●	◎				
	H4H2031	○専門演習2（応用）	1				●	◎				
	H4H2034	福祉英語2	2		◎				●			
	H4H3016	刑事司法と福祉	2			◎		◎				◎
	H4H3017	多文化ソーシャルワーク論	2		◎			●			●	
	H4H3042	社会保障1	2	◎		●						
	H4H3043	社会保障2	2	◎	●							
	H4H2032	福祉インターンシップ1	2			●	●		●	◎	◎	
	H4H2033	福祉インターンシップ2	2			●	●		●	◎	◎	
	H4H3018	ソーシャルワークの理論と方法4	2							◎		
	H4H2035	社会福祉調査の基礎	2	●				●				◎
	H4H3019	福祉サービスの組織と経営	2	◎		●						
	H4H3020	ソーシャルワーク実習指導2	2		●						◎	◎
	H4H3021	ソーシャルワーク実習指導3	2		●						◎	◎
	H4H3022	ソーシャルワーク実習	6			●	●				◎	◎
	H4H3023	現代の精神保健の課題と支援1	2	◎		◎						
	H4H3024	現代の精神保健の課題と支援2	2		●	◎		◎				●
	H4H3025	ソーシャルワーク演習精神保健分野1	1	◎		◎		●				●
	H4H3026	ソーシャルワーク実習指導精神保健分野1	2	●			◎			◎	●	◎
	H4H3027	ソーシャルワークの理論と方法精神保健分野1	2	●							●	◎
H4H3028	ソーシャルワークの理論と方法精神保健分野2	2	●							●	◎	
4年	H4H3029	○卒業研究演習1	1			●	◎					
	H4H3030	○卒業研究演習2	1			●	◎					
	H4H3031	○卒業研究	8				◎					
	H4H3032	ソーシャルワーク演習5	1		◎			◎		●		
	H4H3033	ソーシャルワークの基盤と専門職2	2	●		●					◎	
	H4H3034	スクール（学校）ソーシャルワーク論	2	◎			◎					
	H4H3035	スクール（学校）ソーシャルワーク演習・実習指導	2		◎						●	
	H4H3036	スクール（学校）ソーシャルワーク実習	2		◎	◎					●	
	H4H3037	ソーシャルワーク演習精神保健分野2	1	◎		◎		●				●
	H4H3038	ソーシャルワーク演習精神保健分野3	1	◎		◎		●				●
	H4H3039	ソーシャルワーク実習指導精神保健分野2	2	◎				◎				●
	H4H3040	ソーシャルワーク実習指導精神保健分野3	2	◎				◎				●
	H4H3041	ソーシャルワーク実習精神保健分野	4	◎					◎	◎	●	●

経済学科の教育課程体系図



経済学科のカリキュラムマップ

■カリキュラムマップの見方

この表は学科ごとに観点別に定めている学位授与方針【ディプロマポリシー（DP）】が卒業までに全て達成できるよう、バランスよく履修するツールとなるものです。学位授与方針とは、卒業時点での到達目標を表します。一番上には所属する学科の学位授与方針の番号が記載されており、どの科目で学位授与方針を達成するかを示しています（学位授与方針は下表参照）。

科目名の左側にあるアルファベットと数字は、ナンバリング（科目番号）といって、履修順序の目安となっています。また、○のついている科目は必修科目です。

各年次の履修科目の【◎】【●】記号は、各学位授与方針との関連度 [【◎】強く関連する / 【●】関連する] を表しています。

【学位授与方針】

【課題発見・解決】（実践躬行の体験教育を通じた統合的学修による課題発見・解決力）	
DP1	経済社会の諸問題に対して経済学的な視点で分析することができる。
DP2	経済学に加えて法学・商学・会計学の知識とスキルを用いて、経済社会の諸問題に対する解決策を提案することができる。
【思考・判断】（グローバルな思考に基づく社会貢献）	
DP3	地域の経済社会的な課題を解決するために必要な制度上の知識と実践的手法を身に付けている。
DP4	経済社会の諸問題を世界的視野と歴史的視点で捉えることができる。
【関心・意欲・態度】（自己確立による社会貢献）	
DP5	所属する組織や社会における自らの役割と任務を認識し、主体的にこれらに貢献することができる。
DP6	議論などを始めとしたあらゆる場面において異なる意見を受け止め、理解することができる。
【知識・理解・表現】（社会を支える幅広い教養）	
DP7	経済学の基礎知識を修得している。
DP8	法学・商学・会計学の基礎知識及びビジネスの実践的な知識を修得している。
DP9	文書又は口頭により、自らの考えを論理的かつ正確に伝えることができる。
【技術・技能】（社会貢献に結びつく資格並びに特別な技術・技能）	
DP10	経済社会の動向を経済学に必要な数量的手法を用いて説明することができる。

○：必修科目

学年	科目番号	科目名	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10
1年	E1E1001	○基礎演習A	1					●	●	◎		●	
	E1E1002	○基礎演習B	1					●	●	◎		●	
	E1E1101	○経済学入門1	2	●						◎			
	E1E1102	○経済学入門2	2	●						◎			
	E1E1110	経済特講1（経済数学基礎）	2	●						●			
	E1E1111	経済特講2（経済数学）	2	●						●			◎
	E1E1200	日本経済入門1	2	◎						●			
	E1E1201	日本経済入門2	2	◎			●						
	E1E1211	世界経済入門1	2	●			◎			●			
	E1E1212	世界経済入門2	2	●			◎			●			
	E1E1221	経済史入門1	2				●			◎			
	E1E1222	経済史入門2	2				●			◎			
	E1E1301	経営学入門1	2									◎	
	E1E1302	経営学入門2	2									◎	
	E1E1601	簿記入門1	2									◎	
	E1E1602	簿記入門2	2									◎	
	E1E1900	社会学概論	2								●	◎	
	E1E1901	政治学概論	2								●	◎	
	E1E1990	キャリアスキル特講1	4									◎	
	E1E1991	キャリアスキル特講2	4									◎	
	E1E1992	キャリアスキル特講3	4								●	◎	
	E1E2900	法学概論1	2								●	◎	
	E1E2901	法学概論2	2								●	◎	

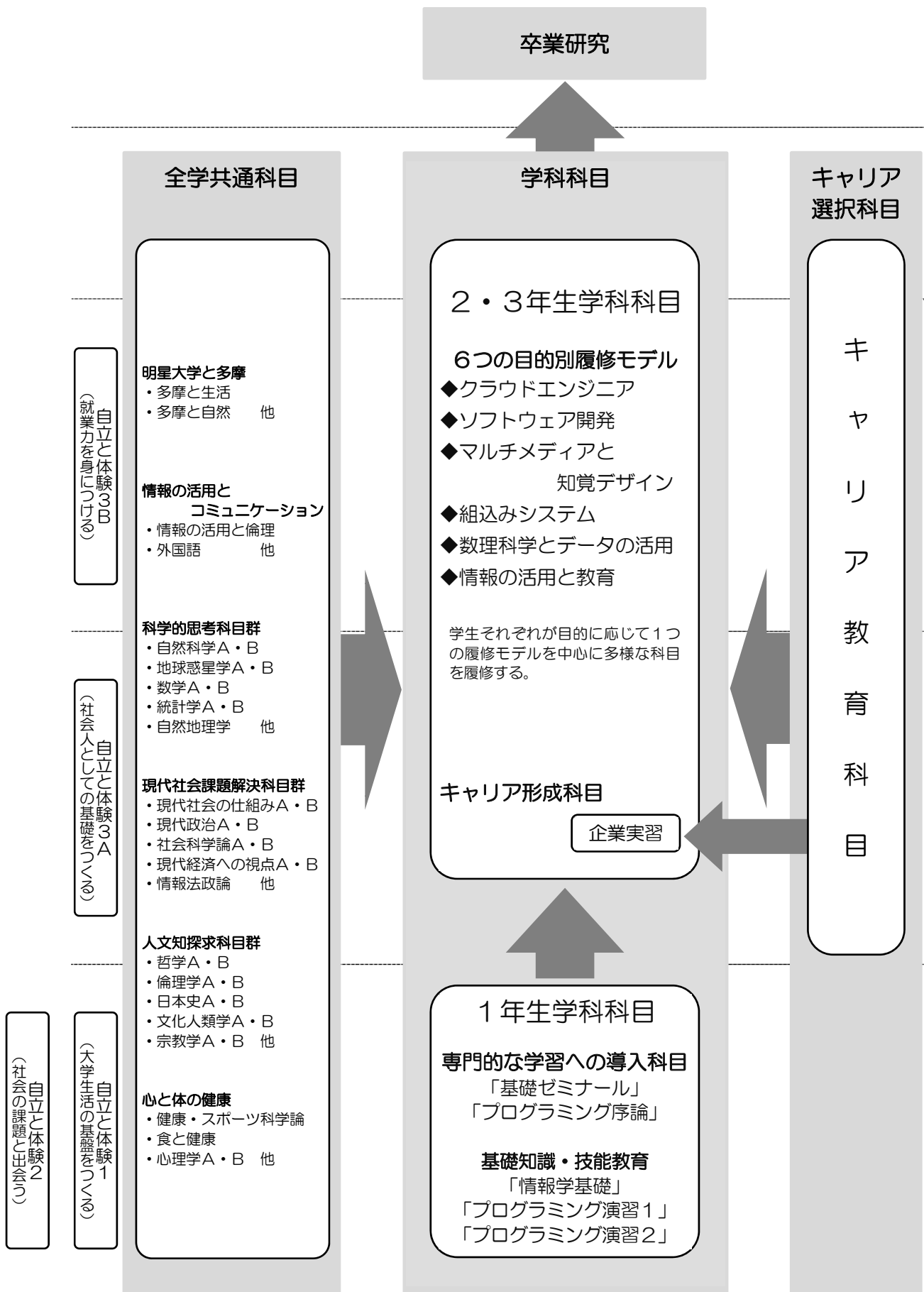
○：必修科目

学年	科目番号	科目名	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	
2年	E1E1121	統計学入門 1	2	●	●								○	
	E1E1122	統計学入門 2	2	●	●								○	
	E1E1311	商学入門 1	2								○			
	E1E1312	商学入門 2	2								○			
	E1E1910	○地域参画ワークショップ	2						○				●	
	E1E2003	課題解決ワークショップ	2		●				○	○			○	
	E1E2101	ミクロ経済学 1	2	●							○			●
	E1E2102	ミクロ経済学 2	2	●							○			●
	E1E2111	マクロ経済学 1	2	●							○			●
	E1E2112	マクロ経済学 2	2	●							○			●
	E1E2211	経済データ分析	2									○		●
	E1E2301	企業経済学 1	2	○	●								●	
	E1E2302	企業経済学 2	2	○	●								●	
	E1E2401	経済事情 1	2	●	●	●	○							
	E1E2402	経済事情 2	2	●	●	●	○							
	E1E2411	地域経済論 1	2	●	●	○								
	E1E2412	地域経済論 2	2	●	●	○								
	E1E2601	財務会計論 1	2									○		
	E1E2602	財務会計論 2	2									○		
	E1E2611	工業簿記 1	2									○		
	E1E2612	工業簿記 2	2									○		
	E1E2811	民法 1	2									○		
	E1E2812	民法 2	2									○		
	E1E2903	地理学概論	2								●	○		
	E1E2950	キャリアスキル 1	2									○		
	E1E2951	キャリアスキル 2	2									○		
	E1E2952	インターンシップ	4							●	●	○	●	
	E1E2970	経済特講 3	2											
	E1E2971	経済特講 4	2	○	●								●	
	E1E2972	経済特講 5	2	○	●								●	
	E1E2990	キャリアスキル特講 4	4					●				○		
	E1E2991	キャリアスキル特講 5	4									○		
	E1E3201	西洋経済史 1	2					●			○			
	E1E3202	西洋経済史 2	2					●			○			
	E1E3211	日本経済史 1	2					●			○			
	E1E3212	日本経済史 2	2					●			○			
	E1E3221	経済学史 1	2	●							○			
	E1E3222	経済学史 2	2	●							○			
E1E3441	国際経済学 1	2	○	○	●	○								
E1E3442	国際経済学 2	2	○	○	●	○								
E1E3501	金融論 1	2	○	●										
E1E3502	金融論 2	2	○	●										
E1E3731	財政学 1	2	●	○			●							
E1E3732	財政学 2	2	●	○			●							
E1E3801	租税法入門	2	●	●							○			
E1E3811	企業法入門	2								●	○			

○：必修科目

学年	科目番号	科目名	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10
3年	E1E3101	計量経済学 1	2	○	●								○
	E1E3102	計量経済学 2	2	○	●								○
	E1E3301	○専門演習 1 A	1	○	○	○	○	●	○		○	●	○
	E1E3301	マーケティング 1	2								○		
	E1E3302	○専門演習 1 B	1	○	○	○	○	●	○		○	●	○
	E1E3302	マーケティング 2	2								○		
	E1E3311	中小商業論 1	2	●	●						○		
	E1E3312	中小商業論 2	2	●	●						○		
	E1E3321	流通経済論 1	2	●	●						○		
	E1E3322	流通経済論 2	2	●	●						○		
	E1E3331	産業組織論 1	2	○	●	●							
	E1E3332	産業組織論 2	2	○	●	●							
	E1E3341	都市経済学 1	2	○	●	○							
	E1E3342	都市経済学 2	2	○	●	○							
	E1E3401	開発経済学 1	2	●	○	●	○						
	E1E3402	開発経済学 2	2	●	○	●	○						
	E1E3411	アジア経済論 1	2	●	○	●	○						
	E1E3412	アジア経済論 2	2	●	○	●	○						
	E1E3420	資源経済学 1	2	○	○		○						
	E1E3430	資源経済学 2	2	○	○		○						
	E1E3511	国際金融論 1	2	○	○		○						
	E1E3512	国際金融論 2	2	○	○		○						
	E1E3521	ファイナンス 1	2	○	●							●	
	E1E3522	ファイナンス 2	2	○	●							●	
	E1E3531	金融システム論 1	2	○	○		●						
	E1E3532	金融システム論 2	2	○	○		●						
	E1E3601	国際会計論 1	2				●				○		
	E1E3602	国際会計論 2	2				●				○		
	E1E3701	公共経済学 1	2	●	○	●	●						
	E1E3702	公共経済学 2	2	●	○	●	●						
	E1E3711	環境経済学 1	2	●	○	●	●						
	E1E3712	環境経済学 2	2	●	○	●	●						
	E1E3721	労働経済学 1	2	●	○	●							
	E1E3722	労働経済学 2	2	●	○	●							
	E1E3741	地方財政論 1	2	●	○	○							
	E1E3742	地方財政論 2	2	●	○	○							
	E1E3751	経済政策 1	2	●	○	●	●						
	E1E3752	経済政策 2	2	●	○	●	●						
	E1E3761	社会政策 1	2	●	○	●							
	E1E3762	社会政策 2	2	●	○	●							
	E1E3802	租税法	2	●	●							○	
E1E3812	企業法	2								●	○		
E1E3821	行政法 1	2			●					●	○		
E1E3822	行政法 2	2			●					●	○		
E1E3831	国際法 1	2					●			●	○		
E1E3832	国際法 2	2					●			●	○		
E1E3950	キャリアスキル 3	2									○		
E1E3951	キャリアスキル 4	2							●		○	●	
E1E3952	キャリアスキル 5	2							●		○	●	
E1E3953	キャリアスキル 6	2							●		○	●	
E1E3970	経済特講 6	2	○	●							●		
4年	E1E3011	○専門演習 2 A	1		○			○	○			○	
	E1E3012	○専門演習 2 B	1		○			○	○			○	
	E1E3023	○卒業研究	8	○	○				●	○	○	○	○

情報学科の教育課程体系図



情報学科のカリキュラムマップ

■カリキュラムマップの見方

この表は学科ごとに観点別に定めている学位授与方針【ディプロマポリシー（DP）】が卒業までに全て達成できるよう、バランスよく履修するツールとなるものです。学位授与方針とは、卒業時点での到達目標を表します。一番上には所属する学科の学位授与方針の番号が記載されており、どの科目で学位授与方針を達成するかを示しています（学位授与方針は下表参照）。

科目名の左側にあるアルファベットと数字は、ナンバリング（科目番号）といって、履修順序の目安となっています。また、○のついている科目は必修科目です。

各年次の履修科目の【◎】【●】記号は、各学位授与方針との関連度 [【◎】強く関連する / 【●】関連する] を表しています。

【学位授与方針】

【課題発見・解決】（実践躬行の体験教育を通じた統合的学修による課題発見・解決力）	
DP1	情報の柔軟な運用や分析、社会的技術的な課題への対応・対策等のスキルを有し、活用することができる。
【思考・判断】（グローバルな思考に基づく社会貢献）	
DP2	社会や経済活動に関する周辺知識を有し、科学的思考により情報を多面的に捉えることができる。
【関心・意欲・態度】（自己確立による社会貢献）	
DP3	多様な人間や考え方から成る文化や習慣、さらに自己を理解した上で、倫理観を持って能動的に行動・協調・協働することにより、情報を核とした社会の発展に貢献できる。
【知識・理解・表現】（社会を支える幅広い教養）	
DP4	情報を扱う人間社会や、システムを構築し活用するための技術・制度・組織を理解している。
【技術・技能】（社会貢献に結びつく資格並びに特別な技術・技能）	
DP5	情報一般やコンピュータで処理される情報の原理を理解した上で、情報を扱う機械及び機構を設計し、実現するための技術を身に付けている。

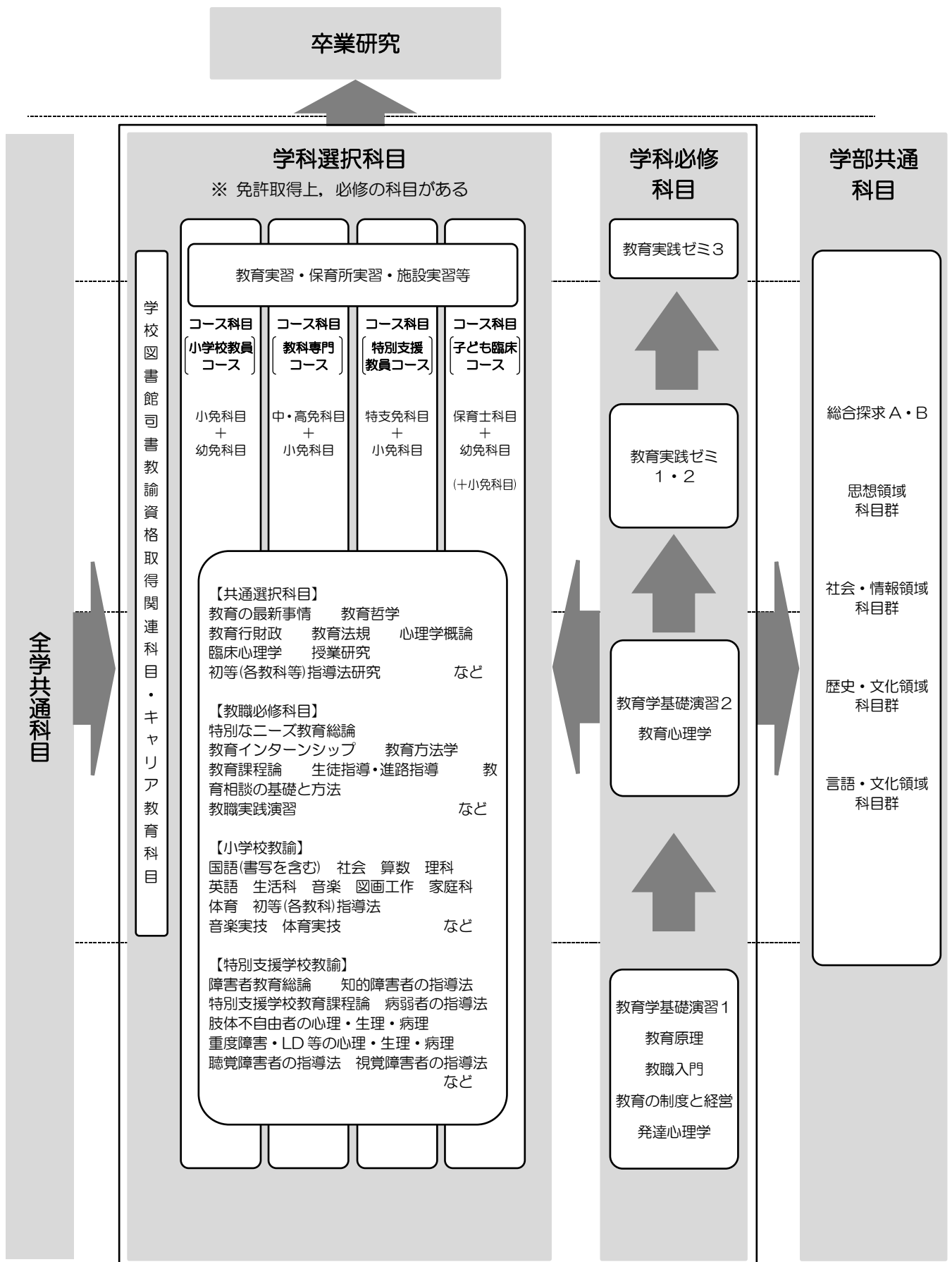
○：必修科目

学年	科目番号	科目名	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
1年	J5J1001	○情報学基礎	2		●	●	◎	
	J5J1002	○プログラミング序論	2	◎			●	
	J5J1003	○技術文書演習	2			◎	●	
	J5J1004	○基礎ゼミナール	2	◎			●	
	J5J1011	基礎情報数学	2	◎			●	
	J5J1012	基礎解析学	2	◎	●		●	
	J5J1013	基礎代数学	2		●	●	◎	
	J5J1014	基礎統計学	2	◎	●	●		
	J5J1101	○プログラミング演習 1	4				●	◎
	J5J1102	○プログラミング演習 2	4				●	◎
2年	J5J1103	○プログラミング演習 3	4	●			●	◎
	J5J1104	○プロジェクト基礎	2	◎		●		●
	J5J1105	○プロジェクト実習・実験 1	2	●		◎		●
	J5J2001	論理回路	2	●	●		◎	◎
	J5J2002	解析学	2	◎			●	
	J5J2003	確率統計学	2	◎	●	●		
	J5J2004	データ処理と統計解析	2	◎	◎			●
	J5J2005	アルゴリズムとデータ構造 1	2	◎			●	◎
	J5J2006	アルゴリズムとデータ構造 2	2	◎			●	◎
	J5J2007	情報数学 A	2	◎			●	
	J5J2011	コンピュータグラフィックス	2	◎		●	◎	
	J5J2012	モデル化技法と最適化	2	●				◎
	J5J2013	デジタル信号処理	2	●				◎
	J5J2014	情報処理 1	2	◎			●	
	J5J2021	コンピュータアーキテクチャ	2	●	●		◎	◎
	J5J2022	情報通信工学	2	●			●	◎
	J5J2023	オブジェクト指向言語	2			●	●	◎
	J5J2024	オペレーティングシステム	2	◎			●	◎
	J5J2031	メディアとコミュニケーション	2	●	◎	◎		
	J5J2032	知的財産権	2				◎	●
	J5J2033	社会調査とデータ解析	2	◎	◎	●	●	
	J5J2034	情報倫理	2				◎	●
	J5J2035	情報ワークショップ 1	2			●	◎	
	J5J2036	情報ワークショップ 2	2			●	◎	
	J5J2041	システム工学	2	◎		●	●	
	J5J2042	プロジェクトマネジメント	2			●	◎	◎
	J5J2043	データベース工学基礎	2				●	◎
	J5J3001	先端情報学 A	2				◎	●
	J5J3002	先端情報学 B	2				◎	●
	J5J3003	先端情報学 C	2				◎	●
	J5J3004	先端情報学 D	2				◎	●
	J5J4001	情報処理基礎	2	●			◎	
J5J4002	ドキュメント構成論	2			◎	●		
J5J4003	プレゼンテーション技術	2	●	◎				
J5J4004	技術外国語 A	2		●	◎			
J5J4005	技術外国語 B	2		●	◎			

○：必修科目

学年	科目番号	科目名	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
3年	J5J1106	○プロジェクト実習・実験2	2	●		●		◎
	J5J2008	言語理論とオートマトン	2		●			◎
	J5J2009	情報数学B	2		●		◎	●
	J5J2010	情報数学C	2		●	●	◎	●
	J5J2015	数値計算法	2		◎	●	●	◎
	J5J2016	画像処理	2	●				◎
	J5J2017	オーディオプロセッシング	2	●				◎
	J5J2018	自然言語処理	2	◎		●		◎
	J5J2019	情報処理2	2	◎			●	
	J5J2020	情報処理3	2	◎			●	
	J5J2025	コンピュータネットワーク	2	●	●		●	◎
	J5J2026	リアルタイムプログラミング	2	●				◎
	J5J2027	人工知能	2	●				◎
	J5J2028	プログラミング言語論	2		●		◎	◎
	J5J2029	ネットワークコンピューティング	2	◎			●	◎
	J5J2030	ロボティクスと組込みシステム	2		◎	●		◎
	J5J2037	情報セキュリティ	2	◎		●		◎
	J5J2038	コンピュータと教育	2	●	◎	●		
	J5J2039	現代社会と科学技術	2			◎	●	
	J5J2040	情報ワークショップ3	2			◎	◎	
	J5J2044	データベース工学応用	2				●	◎
	J5J2045	ソフトウェア工学	2	●			●	◎
	J5J2046	ウェブプログラミング	2	◎			●	●
	J5J2047	コンピュータ管理とセキュリティ	2	◎		●	◎	
	J5J2048	ビジネスインテリジェンス	2	◎			●	◎
	J5J2049	インタラクティブシステム1	2	●	◎	◎	●	●
	J5J2050	インタラクティブシステム2	2	●	◎	◎	●	◎
	J5J4006	情報技術	2		◎			●
	J5J4007	企業実習	2			◎	●	
	J5J5001	○情報学研究	2		●		◎	●
	J5J5002	○プロジェクト実践	2	●		●	◎	◎
	J5J5003	○論文輪講	2			◎	●	●
4年	J5J5004	○卒業研究	8	◎	◎	◎	◎	◎

教育学科の教育課程体系図



教育学科のカリキュラムマップ

■カリキュラムマップの見方

この表は学科ごとに観点別に定めている学位授与方針【ディプロマポリシー（DP）】が卒業までに全て達成できるよう、バランスよく履修するツールとなるものです。学位授与方針とは、卒業時点での到達目標を表します。一番上には所属する学科の学位授与方針の番号が記載されており、どの科目で学位授与方針を達成するかを示しています（学位授与方針は下表参照）。

科目名の左側にあるアルファベットと数字は、ナンバリング（科目番号）といって、履修順序の目安となっています。また、○のついている科目は必修科目です。

各年次の履修科目の【◎】【●】記号は、各学位授与方針との関連度 [【◎】強く関連する／【●】関連する] を表しています。

【学位授与方針】

【課題発見・解決】（実践躬行の体験教育を通じた統合的学修による課題発見・解決力）	
DP1	子どもや教育に関する状況の中から課題を発見し、関係者と協働しながら、課題の解決のための重点や手立てを探究し、計画を立て、実行し、評価し、更に改善を進めていくことができる。
【思考・判断】（グローバルな思考に基づく社会貢献）	
DP2	人間や社会への深い洞察の下、子どもの資質・能力を豊かに発展させるため、学習指導・生徒指導・学級経営や保育などの在り方を創造的に考える力や、状況に応じて的確に判断する力を身に付けている。
DP3	学習指導・生徒指導・学級経営や保育などの在り方を論理的に説明し、協議することのできる表現力を身に付けている。
【関心・意欲・態度】（自己確立による社会貢献）	
DP4	子どもや教育をめぐる状況に関心を持ち、教育や保育の充実改善に主体的、協働的に取り組むことができる。
DP5	子どものよりよい成長発達を支える役割を自覚し、進んで学び、識見を豊かにし、専門的、実践的な力量を高め続けることができる。
【知識・理解・表現】（社会を支える幅広い教養）	
DP6	よりよい教育や保育を計画し展開するために必要な専門的な知識を理解している。
DP7	教育や保育の基盤となる人間や社会等についての幅広い教養を身に付けている。
【技術・技能】（社会貢献に結びつく資格並びに特別な技術・技能）	
DP8	学習指導・生徒指導・学級経営や保育などを効果的に進め、子どもの資質・能力を豊かに発展させるために必要な技術・技能を身に付けている。
DP9	教育や保育に必要な情報を適切に収集・選択し活用できる技術・技能を身に付けている。

必修：● 選択：○

Table with columns: 科目区分, 学年, 科目番号, 科目名, 科目内容. Includes sections for 必修科目 (Mandatory) and 選択科目 (Elective).

Table with columns: 科目区分, 学年, 科目番号, 科目名, 科目内容. Includes sections for 必修科目 (Mandatory) and 選択科目 (Elective).

※中学校教諭一種免許状取得のために必修、高等学校教諭一種免許状取得のために選択となる科目

Table with columns: 科目区分, 学年, 科目番号, 科目名, 科目内容. Includes sections for 小学校教諭 (Elementary School Teacher), 国語 (Language), 社会 (Social Studies), and 数学 (Mathematics).

Table with columns: 科目区分, 学年, 科目番号, 科目名, 科目内容. Includes sections for 音楽 (Music), 美術 (Art), and 保健体育 (Health and Physical Education).

Table with columns: 科目区分, 学年, 科目番号, 科目名, 科目内容. Includes sections for 英語 (English) and 外国語 (Foreign Language).

Table with columns: 科目区分, 学年, 科目番号, 科目名, 科目内容. Includes sections for 外国語 (Foreign Language) and 選択科目 (Elective).

学部共通科目

経営学科の教育課程体系図

卒業研究

全学共通科目

(就業力を高めるための科目)
①

- 明星大学と多摩**
・多摩と生活 他
・多摩と自然
- 情報の活用とコミュニケーション**
・情報の活用と倫理 他
・外国語

(社会人としての基礎を身につける)
②

- 科学的思考科目群**
・自然科学A・B
・地球惑星学A・B
・数学A・B
・統計学A・B
・自然地理学 他
- 現代社会課題解決科目群**
・現代社会の仕組みA・B
・現代政治A・B
・社会科学論A・B
・現代経済への視点A・B
・情報法政論 他

- 人文知探求科目群**
・哲学A・B
・倫理学A・B
・日本史A・B
・文化人類学A・B
・宗教学A・B 他

- 心と体の健康**
・健康・スポーツ科学論
・食と健康
・心理学A・B 他

(大学生活の基礎を身につける)
③

学科科目

ゼミナール

ゼミナール1～4・卒業研究 (3年・4年次)

- 多摩ブランド創生コース
観光・ブライダルコース
事業承継・起業コース
金融・会計プロフェッションコース
高度実務人材育成コース

学科専門分野科目 (1年～3年次)

【コースごとの履修モデルで学ぶ】

経営戦略論基礎	流通論基礎	簿記特講
経営組織論	流通論応用	基礎財務会計
イノベーション実践論	観光学概論	業績評価会計
組織心理学	観光マーケティング論	原価計算論
経営戦略ケーススタディ	ホスピタリティ・マネジメント論	上級簿記、工業簿記
中小企業経営論	観光ビジネス実務	上級財務会計
人的資源管理論	マーケティング・ケーススタディ	意思決定会計
アプロプリエーション論	ブライダル・マーケティング論	ビジネスゲーム
国際経営論	ホスピタリティ・マネジメント実践論	ビジネスアカデミック
起業マネジメント論	現代の経営戦略と組織	地域ブランド論
スピン・アウト・イノベーション論	インターネット・マーケティング	財務諸表分析
ビジネスモデル構築	マーケティングリサーチ	金融論、監査論
ファミリービジネス論	消費者行動論	租税法、ファイナンス
中小企業戦略論	IoTマーケティング	証券市場論
地域経済論	流通論ケーススタディ	コンピュータ会計
経営戦略論応用	事業承継・起業と会計	サービスマネジメント論
企業家論	コミュニケーション論	プロダクトマネジメント論
リーダーシップ開発	サプライチェーンマネジメント	
ビジネスプランニング		

基幹科目 (1年・2年次)

経営に関する基礎を学習する

経営学概論	簿記論	マーケティング論基礎
会計学概論	経営基礎1～4	
ビジネス実務基礎	マーケティング論応用	
企業論	ビジネス実務応用	

キャリア開発関連科目

キャリア開発1～4

経営学科のカリキュラムマップ

■カリキュラムマップの見方

この表は学科ごとに観点別に定めている学位授与方針【ディプロマポリシー（DP）】が卒業までに全て達成できるよう、バランスよく履修するツールとなるものです。学位授与方針とは、卒業時点での到達目標を表します。一番上には所属する学科の学位授与方針の番号が記載されており、どの科目で学位授与方針を達成するかを示しています（学位授与方針は下表参照）。

科目名の左側にあるアルファベットと数字は、ナンバリング（科目番号）といって、履修順序の目安となっています。また、○のついている科目は必修科目です。

各年次の履修科目の【◎】【●】記号は、各学位授与方針との関連度 [【◎】強く関連する / 【●】関連する] を表しています。

【学位授与方針】

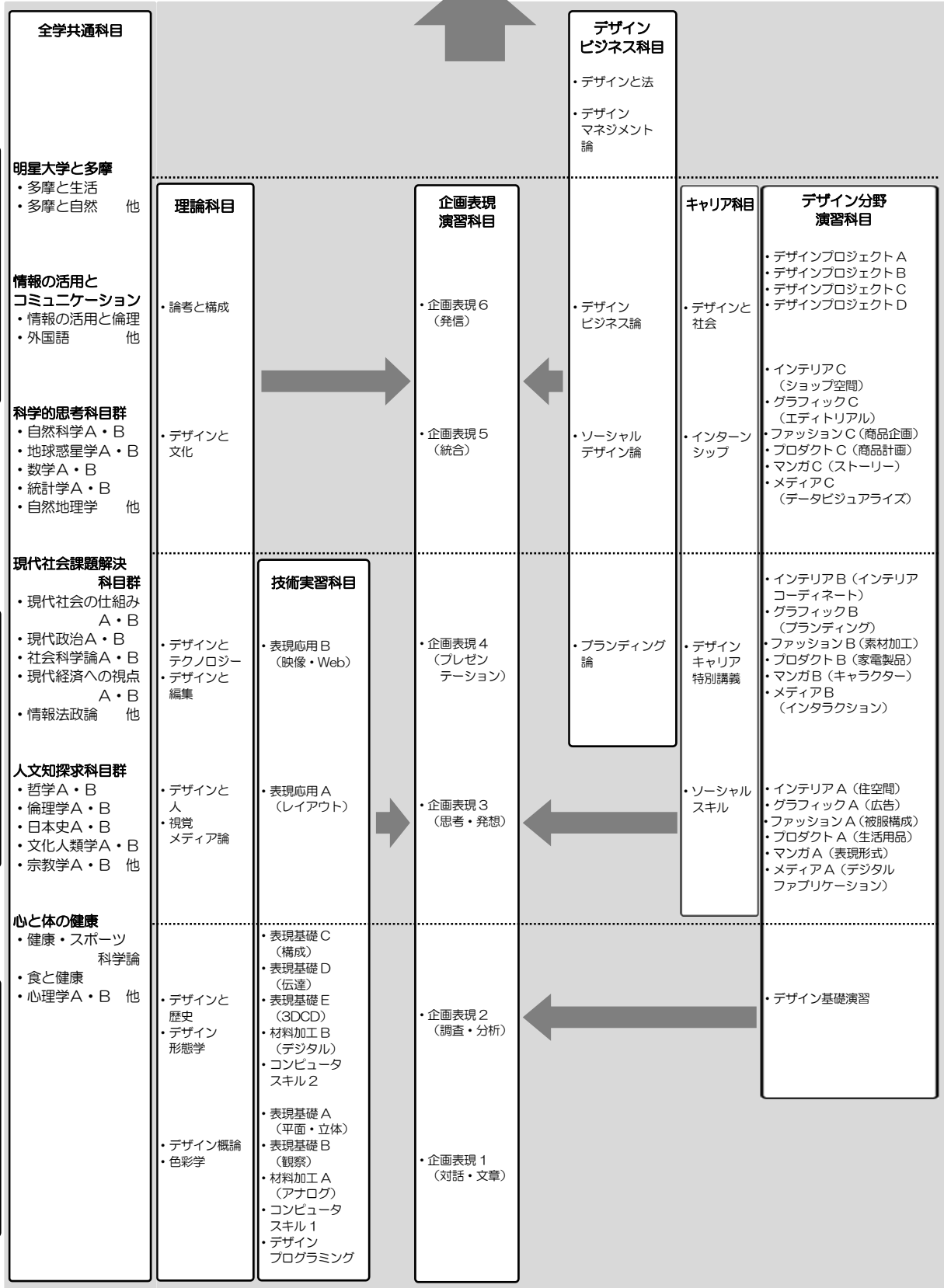
	【課題発見・解決】（実践躬行の体験教育を通じた統合的学修による課題発見・解決力）
DP1	経営学の知識を生かしながらも、硬直的な理論にとらわれず柔軟な行動をとることができる。
	【思考・判断】（グローバルな思考に基づく社会貢献）
DP2	経営学の知識を用いて論理的かつ柔軟に思考することができる。
	【関心・意欲・態度】（自己確立による社会貢献）
DP3	世の中の動きに関心を持ち、地域社会の一員として貢献できる能力を身に付けている。
DP4	社会人、企業人又は組織人として生涯自発的に学ぶ能力を身に付けている。
DP5	人間関係と組織活動を重んじ、グループの一員として、同僚と協働して作業を行うことができる。
	【知識・理解・表現】（社会を支える幅広い教養）
DP6	正しい経営活動における知識と技術を理解し、実践及び表現することができる。
DP7	企業及びその他の組織体の社会的責任と統治能力を理解することができる。
	【技術・技能】（社会貢献に結びつく資格並びに特別な技術・技能）
DP8	科学的な調査・分析手法を用いて論理的に物事を理解することができる。
DP9	身に付けた経営学の知識を生かし、企業活動に役立てることができる。

○：必修科目

学年	科目番号	科目名	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	
1年	B1B1000	○経営基礎 1	2					○	●				
	B1B1001	○経営基礎 2	2			○		○	●				
	B1B1002	ビジネス実務基礎	2					●		○			
	B1B1003	○経営学概論	2	○		●			●				
	B1B1004	○簿記論	2		○						●	●	
	B1B1005	○マーケティング論基礎	2	○		●						●	
	B1B1006	○会計学概論	2	○							●	●	
	B1B1007	マーケティング論応用	2	●	○				●	●			
	B1B1008	経営戦略論基礎	2	●					○			●	
B1B1009	簿記特講	2			○					●	●		
2年	B1B2000	○経営基礎 3	2					○	●				
	B1B2001	○経営基礎 4	2					○	●				
	B1B2002	企業論	2	●		●	○		○				
	B1B2003	ビジネス実務応用	2			○	●	●				●	
	B1B2004	経営組織論	2					○	○				
	B1B2005	イノベーション実践論	2						○			●	
	B1B2006	組織心理学	2			○		●	●		●		
	B1B2007	経営戦略ケーススタディ	2	●								○	
	B1B2008	中小企業経営論	2			○			○	○			
	B1B2009	人的資源管理論	2					●					
	B1B2010	アントレプレナーシップ論	2			●	○						
	B1B2011	流通論基礎	2						○			●	
	B1B2012	流通論応用	2		●					○			
	B1B2013	観光学概論	2			●						○	
	B1B2014	観光マーケティング論	2			●						○	
	B1B2015	ホスピタリティ・マネジメント論	2			●						○	
	B1B2016	観光ビジネス論	2			●						○	
	B1B2017	観光ビジネス実務	2			●						○	
	B1B2018	基礎財務会計	2		○							●	
	B1B2019	上級財務会計	2		○							●	
	B1B2020	業績評価会計	2		○							●	
	B1B2021	意思決定会計	2		○							●	
	B1B2022	原価計算論	2		○							●	
	B1B2023	上級簿記	2		○							●	
	B1B2024	工業簿記	2		○							●	
	B1B2025	ビジネスゲーム	2									○	
	B1B2026	キャリア開発 1	2				●	●				○	
B1B2027	キャリア開発 2	2				○	○	○			○		
3年	B1B3000	○ゼミナール 1	1	●	●	○	○	○	●	○		○	
	B1B3001	○ゼミナール 2	1	●	●	○	○	○	●	○		○	
	B1B3002	国際経営論	2	●		○							
	B1B3003	起業マネジメント論	2	○								●	
	B1B3004	現代の経営戦略と組織	2	●		○							
	B1B3005	ビジネスモデル構築	2	○								●	
	B1B3006	ファミリービジネス論	2				○	●		○			
	B1B3007	中小企業戦略論	2			●				●			
	B1B3008	企業家論	2			●				●			
	B1B3009	リーダーシップ開発	2				○	○	○				
	B1B3010	ビジネスプランニング	2	●		○						●	
	B1B3011	プロジェクトマネジメント論	2		●				●				
	B1B3012	地域経済論	2			●					●		
	B1B3013	経営戦略論応用	2	●								○	
	B1B3014	プライダル・マーケティング論	2			●						○	
	B1B3015	ホスピタリティ・マネジメント実践論	2			●						○	
	B1B3016	地域ブランド論	2			●						○	
	B1B3017	マーケティング・ケーススタディ	2			●						○	
	B1B3018	スポーツ・エンターテインメントビジネス論	2			●						○	
	B1B3019	インターネット・マーケティング	2			●						○	
	B1B3020	IoTマーケティング	2			●						○	
	B1B3021	マーケティングリサーチ	2		●								
	B1B3022	消費者行動論	2			○				●		○	
	B1B3023	流通論ケーススタディ	2							●		○	
	B1B3024	サービスマネジメント論	2							●			
	B1B3025	コミュニケーション論	2				●	●					
	B1B3026	サプライチェーンマネジメント	2			○			○			●	
	B1B3027	ビジネスアカウンティング	2		●					●			
	B1B3028	財務諸表分析	2		●					●			
	B1B3029	金融論	2		●					●			
	B1B3030	監査論	2		●					●			
	B1B3031	租税法	2		●					●			
	B1B3032	証券市場論	2		●					●			
	B1B3033	ファイナンス	2		●					●			
	B1B3034	コンピュータ会計	2		●					●		●	
	B1B3035	事業承継・起業と会計	2	●						●		○	
	B1B3036	キャリア開発 3	2				●	●				○	
	B1B3037	キャリア開発 4	2				●	●				○	
	4年	B1B4000	○ゼミナール 3	1	○	○	○	●	○	○	○	●	●
		B1B4001	○ゼミナール 4	1	○	○	○	●	○	○	○	●	●
B1B4002		○卒業研究	8	○	○	○	●	○	○	○	●	●	

デザイン学科の教育課程体系図

卒業研究



デザイン学科のカリキュラムマップ

■カリキュラムマップの見方

この表は学科ごとに観点別に定めている学位授与方針【ディプロマポリシー（DP）】が卒業までに全て達成できるよう、バランスよく履修するツールとなるものです。学位授与方針とは、卒業時点での到達目標を表します。一番上には所属する学科の学位授与方針の番号が記載されており、どの科目で学位授与方針を達成するかを示しています（学位授与方針は下表参照）。

科目名の左側にあるアルファベットと数字は、ナンバリング（科目番号）といって、履修順序の目安となっています。また、○のついている科目は必修科目です。

各年次の履修科目の【◎】【●】記号は、各学位授与方針との関連度 [【◎】強く関連する / 【●】関連する] を表しています。

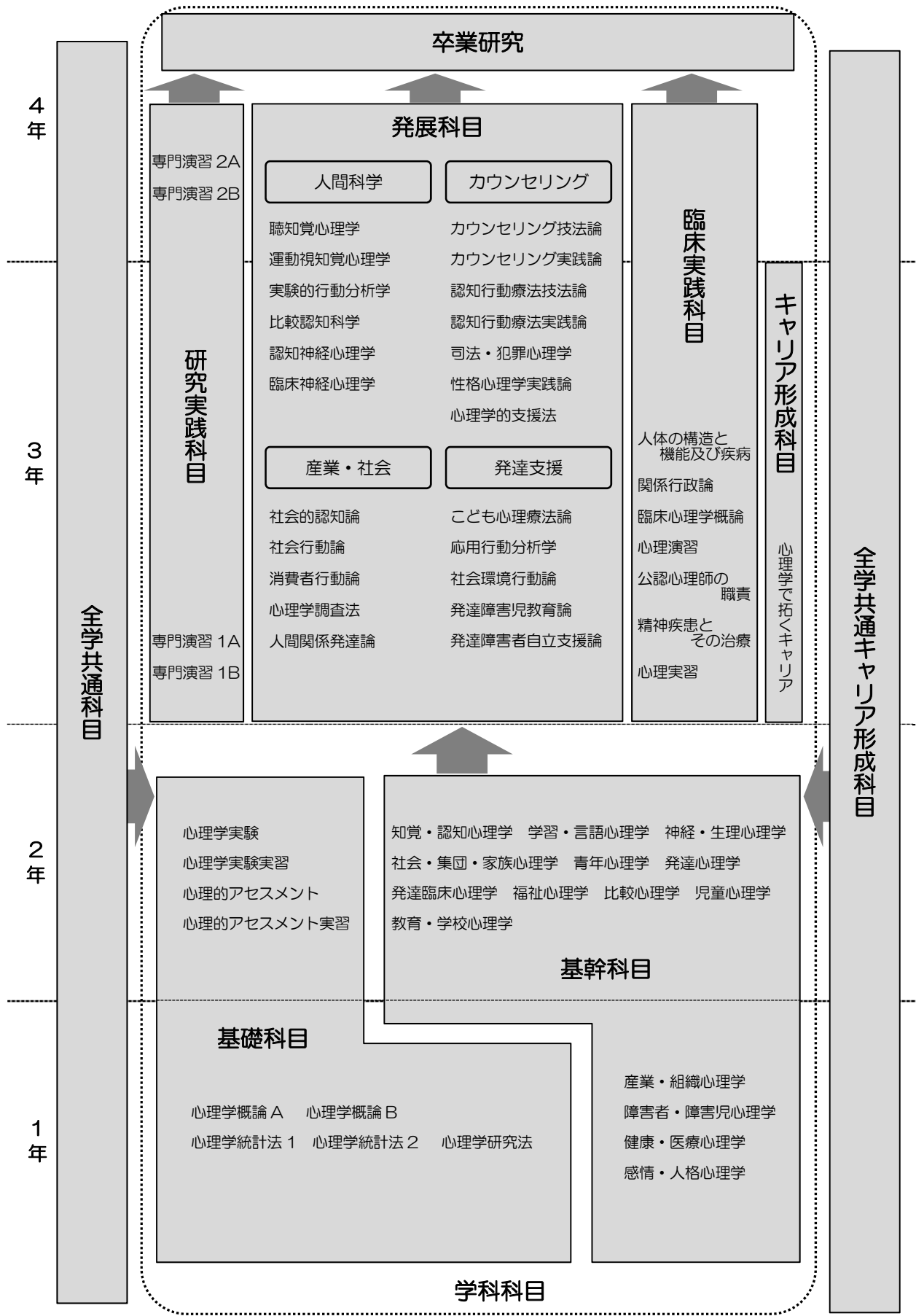
【学位授与方針】

【課題発見・解決】（実践躬行の体験教育を通じた統合的学修による課題発見・解決力）	
分析力・発想力・統合力 = 企画力	
DP1	身の周りの生活や社会を調査・分析し、自ら課題を発見することができる。
DP2	調査・分析をもとに様々なアイデアを発想することができる。
DP3	課題を解決するためのアイデアを具体的かつ魅力的な企画にまとめることができる。
【思考・判断】（グローバルな思考に基づく社会貢献）	
デザイン思考・社会貢献	
DP4	様々な社会に最適な「ヒト・コト・モノ」の関係性を創造的に思考し、判断することができる。
DP5	幅広い視野に立って判断し、社会の発展に貢献することができる。
【関心・意欲・態度】（自己確立による社会貢献）	
社会に対する関心・工夫する力	
DP6	社会に対して幅広い関心を持ち、社会貢献につながる自らの目標を明確に定めることができる。
DP7	困難に対してあきらめず、工夫と努力を続けることができる。
【知識・理解・表現】（社会を支える幅広い教養）	
デザインに関する知識・コミュニケーション力	
DP8	デザインの活動に必要な幅広い知識と教養を有している。
DP9	デザインの活動に必要なコミュニケーションの意義と方法を理解している。
【技術・技能】（社会貢献に結びつく資格並びに特別な技術・技能）	
美的構成力・プレゼンテーション力	
DP10	企画やアイデアを、資料や具体案として美的に構成することができる。
DP11	企画やアイデアを明快にプレゼンテーションすることができる。

○：必修科目

学年	科目番号	科目名	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11
1年	Z1Z1111	○企画表現1(対話・文章)	2							◎		◎		
	Z1Z1121	○企画表現2(調査・分析)	2	◎	●		●		◎					
	Z1Z1211	色彩学	2				●				◎			
	Z1Z1212	○デザイン概論	2				●				◎			
	Z1Z1221	デザイン形態学	2				●				◎			
	Z1Z1222	デザインと歴史	2				●				◎			
	Z1Z1311	○コンピュータスキル1	1							●			◎	
	Z1Z1312	○材料加工A(アナログ)	1							●			◎	
	Z1Z1313	○デザインプログラミング	1							●			◎	
	Z1Z1314	○表現基礎A(平面・立体)	1							●			◎	
	Z1Z1315	○表現基礎B(観察)	2	◎						●			◎	
	Z1Z1321	○材料加工B(デジタル)	1							●			◎	
	Z1Z1322	○表現基礎C(構成)	1							●			◎	
	Z1Z1323	○表現基礎D(伝達)	2							●		◎	◎	
	Z1Z1324	○表現基礎E(3DCG)	1							●			◎	
	Z1Z1421	○デザイン基礎演習	4									◎		◎
	Z1Z2321	○コンピュータスキル2	1							●				◎
2年	Z1Z2131	○企画表現3(思考・発想)	2	●	◎	●	◎			●				
	Z1Z2141	○企画表現4(プレゼンテーション)	4									◎		◎
	Z1Z2231	視覚メディア論	2								◎	●		
	Z1Z2232	デザインと人	2				●				◎			
	Z1Z2241	デザインとテクノロジー	2				●				◎			
	Z1Z2331	○表現応用A(レイアウト)	1							●		◎	◎	
	Z1Z2341	○表現応用B(映像・Web)	1							●		◎	◎	
	Z1Z2431	インテリアA(住空間)	4				●				◎		◎	
	Z1Z2432	グラフィックA(広告)	4				●				◎		◎	
	Z1Z2433	ファッションA(被服構成)	4				●				◎		◎	
	Z1Z2434	プロダクトA(生活用品)	4				●				◎		◎	
	Z1Z2435	マンガA(表現形式)	4				●				◎		◎	
	Z1Z2436	メディアA(デジタルファブ리케이션)	4				●				◎		◎	
	Z1Z2441	インテリアB(インテリアコーディネート)	4				●				◎		◎	
	Z1Z2442	グラフィックB(ブランディング)	4				●				◎		◎	
	Z1Z2443	ファッションB(素材加工)	4				●				◎		◎	
	Z1Z2444	プロダクトB(商品計画)	4				●				◎		◎	
	Z1Z2445	マンガB(キャラクター)	4				●				◎		◎	
	Z1Z2446	メディアB(インタラクティブ)	4				●				◎		◎	
	Z1Z2531	○ソーシャルスキル	2							◎	●		◎	
	Z1Z2541	デザインキャリア特別講義	2							◎		●		
	Z1Z3241	デザインと編集	2				●				◎			
	Z1Z3641	ブランディング論	2				●	●			◎			
3年	Z1Z2451	インテリアC(ショップ空間)	4				●				◎		◎	
	Z1Z2452	グラフィックC(エディトリアル)	4				●				◎		◎	
	Z1Z2453	ファッションC(商品企画)	4				●				◎		◎	
	Z1Z2454	プロダクトC(家電製品)	4				●				◎		◎	
	Z1Z2455	マンガC(ストーリー)	4				●				◎		◎	
	Z1Z2456	メディアC(データビジュアライズ)	4				●				◎		◎	
	Z1Z3151	○企画表現5(統合)	4			◎	◎	◎						●
	Z1Z3161	○企画表現6(発信)	4										◎	●
	Z1Z3251	デザインと文化	2				●				◎			
	Z1Z3261	論考と構成	2								◎	●		
	Z1Z3461	デザインプロジェクトA	2			◎	◎	◎						
	Z1Z3462	デザインプロジェクトB	2			◎	◎	◎						
	Z1Z3463	デザインプロジェクトC	2			◎	◎	◎						
	Z1Z3464	デザインプロジェクトD	2			◎	◎	◎						
	Z1Z3551	インターンシップ	2							◎			●	
	Z1Z3561	○デザインと社会	2	●						◎	●		●	
	Z1Z3651	ソーシャルデザイン論	2				●	●			◎			
Z1Z3661	デザインビジネス論	2				●	●			◎				
4年	Z1Z3671	デザインマネジメント論	2				●	●			◎			
	Z1Z3681	デザインと法	2				●	●			◎			
	Z1Z3771	○卒業研究	8	●	●	◎	●	●	◎	●	●	●	●	●

心理学科の教育課程体系図



心理学科のカリキュラムマップ

■カリキュラムマップの見方

この表は学科ごとに観点別に定めている学位授与方針【ディプロマポリシー（DP）】が卒業までに全て達成できるよう、バランスよく履修するツールとなるものです。学位授与方針とは、卒業時点での到達目標を表します。一番上には所属する学科の学位授与方針の番号が記載されており、どの科目で学位授与方針を達成するかを示しています（学位授与方針は下表参照）。

科目名の左側にあるアルファベットと数字は、ナンバリング（科目番号）といって、履修順序の目安となっています。また、○のついている科目は必修科目です。

各年次の履修科目の【◎】【●】記号は、各学位授与方針との関連度 [【◎】強く関連する / 【●】関連する] を表しています。

【学位授与方針】

【課題発見・解決】（実践躬行の体験教育を通じた統合的学修による課題発見・解決力）	
DP1	実習で体験的に修得した方法論や技法を駆使して、独力で問題を発見し、その問題に対処できる。
【思考・判断】（グローバルな思考に基づく社会貢献）	
DP2	外国語文献の読解も含むグローバルな探究で得られた最新の知見を活用して、個人・集団・地域社会等の現実的な諸問題に対処できる。
【関心・意欲・態度】（自己確立による社会貢献）	
DP3	科学的・実証的探究の成果としての卒業研究の完成に繋がる4年間の学びを通して、自ら目標を見出し、その目標を達成するために自律的・計画的に行動することができる。
【知識・理解・表現】（社会を支える幅広い教養）	
DP4	心理学の学びから培われるバランスのとれた人間観に基づき、他者を理解し社会内存在として自己を相対化できる。
DP5	科学的探究としての卒業研究を通じて、説明やプレゼンテーションによる相互理解を実現できる。
【技術・技能】（社会貢献に結びつく資格並びに特別な技術・技能）	
DP6	心理学の学びを通じて培われた実践的教養としての論理的思考やコミュニケーションによって、社会の多様な場面での価値創造や相互理解構築に貢献できる。

○：必修科目

学年	科目番号	科目名	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
1年	F1F1001	○心理学概論A	2		●	◎	◎		
	F1F1002	○心理学概論B	2		●	◎	◎		
	F1F1003	○心理学統計法1	2	◎	●	◎	●		
	F1F1004	○心理学統計法2	2	◎	●	◎	●		
	F1F1005	○心理学研究法	2	◎	●	◎	●		
	F1F1106	産業・組織心理学	2		●		◎		
	F1F1107	健康・医療心理学	2		●		◎		
	F1F1108	感情・人格心理学	2		●		◎		
	F1F1109	障害者・障害児心理学	2		●		◎		
2年	F1F2001	○心理学実験	2	◎	●	◎	●		
	F1F2002	○心理学実験実習	2	◎	●	◎	●		
	F1F2003	○心理的アセスメント	2	◎	●	◎	●		
	F1F2004	○心理的アセスメント実習	2	◎	●	◎	●		
	F1F2101	知覚・認知心理学	2		●		◎		
	F1F2102	学習・言語心理学	2		●		◎		
	F1F2103	神経・生理心理学	2		●		◎		
	F1F2104	社会・集団・家族心理学	2		●		◎		
	F1F2105	青年心理学	2		●		◎		
	F1F2106	発達心理学	2		●		◎		
	F1F2107	発達臨床心理学	2		●		◎		
	F1F2108	教育・学校心理学	2		●		◎		
	F1F2109	比較心理学	2		●		◎		
	F1F2110	児童心理学	2		●		◎		
F1F2111	福祉心理学	2		●		◎			

○：必修科目

学年	科目番号	科目名	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
3年	F1F3001	○専門演習 1 A	1	●	◎	◎		◎	●
	F1F3002	○専門演習 1 B	1	●	◎	◎		◎	●
	F1F3101	聴知覚心理学	2		●		●		
	F1F3102	運動視知覚心理学	2		●		●		
	F1F3103	実験的行動分析学	2		●		●		
	F1F3104	比較認知科学	2		●		●		
	F1F3105	認知神経心理学	2		●		●		
	F1F3106	臨床神経心理学	2		●		●		
	F1F3106	社会的認知論	2		●		●		●
	F1F3107	社会行動論	2		●		●		●
	F1F3108	消費者行動論	2		●		●		●
	F1F3109	心理学調査法	2		●		●		●
	F1F3110	人間関係発達論	2		●		●		●
	F1F3110	カウンセリング技法論	2		●		●		
	F1F3111	カウンセリング実践論	2		●		●		
	F1F3112	認知行動療法技法論	2		●		●		
	F1F3113	認知行動療法実践論	2		●		●		
	F1F3114	司法・犯罪心理学	2		●		●		
	F1F3115	性格心理学実践論	2		●		●		
	F1F3116	心理学的支援法	2		●		●		
	F1F3116	こども心理療法論	2		●		●		
	F1F3117	応用行動分析学	2		●		●		
	F1F3118	社会環境行動論	2		●		●		
	F1F3119	発達障害児教育論	2		●		●		
	F1F3120	発達障害者自立支援論	2		●		●		
	F1F3201	心理演習	2	●	●				◎
	F1F3202	臨床心理学概論	2		●				
	F1F3203	精神疾患とその治療	2		●				
	F1F3204	公認心理師の職責	2						◎
	F1F3205	関係行政論	2						◎
F1F3206	人体の構造と機能及び疾病	2		●					
F1F3207	心理実習	2	●	●				◎	
F1F3301	心理学で拓くキャリア	2		●				◎	
4年	F1F3003	○専門演習 2 A	1	●	◎	◎		◎	●
	F1F3004	○専門演習 2 B	1	●	◎	◎		◎	●
	F1F3005	○卒業研究	8	●	◎	◎		◎	●

卒業研究

建築デザインスタジオ
住宅デザインスタジオ
建築都市エンジニアリングスタジオ

《専門基幹科目》

建築設計製図③

- ・建築材料学
- ・建築施工管理
- ・減災学
- ・木造建築
- ・BIM演習
- ・測量学
- ・ランドスケープ
- ・建築マネジメント 等

建築設計製図②

- ・建築計画1
- ・建築法規
- ・建築構造力学
- ・建築構造計画
- ・建築環境学1
- ・建築設備1
- ・建築環境計画

建築設計製図①

- ・建築構法
- ・日本建築史
- ・建築CAD演習
- ・建築構造実験
- ・建築構造力学演習
- ・建築材料力学
- ・施工実習 等

建築基礎設計製図

- ・建築概論
- ・建築基礎力学
- ・西洋建築史

造形デザイン実習

- ・建築表現
- ・建築基礎力学演習
- ・建築材料実験 等

《専門発展科目》

キャリア支援科目

・建築総合演習・インターシップ

建築都市エンジニアリング

・建築構造解析・鉄骨構造
・耐震工学・地盤工学
・鉄筋コンクリート構造 等

住宅デザイン

・住宅と社会・住まい計画
・住環境と福祉・住宅と実務
・インテリアデザイン 等

建築デザイン

・建築計画2・建築意匠
・構造デザイン・都市計画
・建築再生論 等

《基礎科目》

・基礎代数学・基礎解析学

・基礎物理学・建築入門

・実務の専門家が語る建築学

・建築デザイン幾何学

明星大学と多摩

・自立と体験1・2
・多摩と生活
・多摩を歩く 等

情報の活用とコミュニケーション

・情報の活用と倫理
・外国語科目 等

幅広い教養

＜科学的思考科目群＞

・統計学・物理学
・都市と建築 等

＜現代社会課題解決科目群＞

・外国事情・現代政治
・国際関係論 等

＜人文知探究科目群＞

・哲学・日本史
・西洋の歴史と文化
・美学・図像学
・文化人類学 等

心と体の健康

・健康・スポーツ
・心理学・食と健康 等

全学共通キャリア形成科目

全学共通科目

学科科目

建築学科のカリキュラムマップ

■カリキュラムマップの見方

この表は学科ごとに観点別に定めている学位授与方針【ディプロマポリシー（DP）】が卒業までに全て達成できるよう、バランスよく履修するツールとなるものです。学位授与方針とは、卒業時点での到達目標を表します。一番上には所属する学科の学位授与方針の番号が記載されており、どの科目で学位授与方針を達成するかを示しています（学位授与方針は下表参照）。

科目名の左側にあるアルファベットと数字は、ナンバリング（科目番号）といって、履修順序の目安となっています。また、○のついている科目は必修科目です。

各年次の履修科目の【◎】【●】記号は、各学位授与方針との関連度 [【◎】強く関連する / 【●】関連する] を表しています。

【学位授与方針】

【課題発見・解決】（実践躬行の体験教育を通じた統合的学修による課題発見・解決力）	
DP1	建築学の専門知識に基づき、都市や地域が抱える今日的課題を発見し、その解決案を提案できる。
DP2	建築学の専門知識を応用して、自ら課題を設定し実証的な手法を用いて研究論文の作成、又は社会的・客観的視点に立脚した建築設計を行うことができる。
【思考・判断】（グローバルな思考に基づく社会貢献）	
DP3	自然科学分野に加え、社会科学・人文科学分野を含めた幅広い教養を用いて、建築を歴史・社会・人間と関連付けて思考することができる。
【関心・意欲・態度】（自己確立による社会貢献）	
DP4	建築に携わる職業人としての社会的役割と責任について理解している。
DP5	他者との協働作業において、他者の立場や意見を尊重し、チームの成果に貢献することができるコミュニケーション能力を有している。
【知識・理解・表現】（社会を支える幅広い教養）	
DP6	建築学に関する幅広い専門知識を身に付けている。
DP7	自らの成果物に関して、論理的かつ合理的に説明できるプレゼンテーション能力を有している。
【技術・技能】（社会貢献に結びつく資格並びに特別な技術・技能）	
DP8	建築における総合的（意匠、計画、環境、構造）な設計を行うことができる。

○：必修科目

学年	科目番号	科目名	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8
1年	A1A1001	○建築入門	2			●	●		◎		
	A1A1002	○実務の専門家が語る建築学	2			●	◎				
	A1A1003	○基礎代数学	2			◎			●		
	A1A1004	○基礎解析学	2			◎			●		
	A1A1005	基礎物理学	2			◎			●		
	A1A1011	○建築概論	2			●	◎		●		●
	A1A1012	○造形デザイン実習	2						●	◎	
	A1A1013	○西洋建築史	2			◎	●		●		
	A1A1014	○建築基礎設計製図	2				●		●	◎	●
	A1A1015	建築表現	2				●		●	◎	
	A1A1021	○建築基礎力学	2			●	●		◎		
	A1A1024	建築基礎力学演習	2				●		◎	●	
	A1A1041	建築材料実験	2				●	●	◎		
	2年	A1A2001	建築デザイン幾何学	2			●	●		◎	
A1A2011		○建築計画1	2	●			●		◎		●
A1A2012		○建築法規	2	●			●		◎		●
A1A2013		○日本建築史	2			◎	●		●		
A1A2014		○建築設計製図1	2				●		●	◎	◎
A1A2015		建築CAD演習A	2				●		◎		●
A1A2016		○建築設計製図2	2				●		●	◎	◎
A1A2017		建築CAD演習B	2				●		●	◎	●
A1A2021		○建築構造力学	2				●		◎		
A1A2022		○建築構造計画	2				●		◎		◎
A1A2023		建築構造実験	2				●	●	◎		
A1A2024		建築構造力学演習	2				●		◎		
A1A2031		○建築環境学1	2	●			●		◎		
A1A2032		○建築設備1	2	●			●		◎		
A1A2033		○建築環境計画	2	●			●		◎		◎
A1A2041		○建築構法	2				●		◎		●
A1A2042		○建築材料力学	2				●		◎		
A1A2043		建築診断・リフォーム	2	●			●		◎		●
A1A2044		施工実習	1				●	●	◎		

○：必修科目

学年	科目番号	科目名	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	
3年	A1A3001	インターンシップ	2				●	◎			●	
	A1A3011	減災学	2	●			●		◎			
	A1A3012	木造建築	2				●		◎		●	
	A1A3013	○建築設計製図3	2				●		●	◎	◎	
	A1A3014	BIM演習	2				◎			●	●	
	A1A3015	ランドスケープ	2	●			◎		●		●	
	A1A3041	○建築材料学	2				●		◎		●	
	A1A3042	測量学	2				●		◎			
	A1A3043	測量学実習	1				●	●	◎			
	A1A3044	○建築施工管理	2				●		◎			
	A1A3045	建築マネジメント	2			●	●		◎		●	
	A1A3111	建築計画2	2	●			●		◎		●	
	A1A3112	建築意匠	2				●		●	◎		
	A1A3113	建築再生論	2	●		●			◎			
	A1A3114	都市計画	2	◎			●		●			
	A1A3115	コミュニティデザイン概論	2			●	●		◎			
	A1A3116	建築デザインスタジオ	2		●				●		◎	●
	A1A3121	構造デザイン	2			●			◎	●	●	
	A1A3131	都市環境デザイン論	2			●	●		◎			
	A1A3132	建築環境学2	2				●		◎		●	
	A1A3133	建築設備2	2				●		◎		●	
	A1A3211	住まいのデザイン	2	●			◎		●		●	
	A1A3212	住まい計画	2	●			◎		●		●	
	A1A3213	インテリアデザイン	2				●		◎		●	
	A1A3214	住宅と社会	2	●			◎		●			
	A1A3215	住環境と福祉	2	●			◎		●			
	A1A3216	住宅と実務	2	●			◎		●		●	
	A1A3217	住宅デザインスタジオ	2		●				●		◎	●
	A1A3341	建築構造解析	2				●		◎		●	
	A1A3342	鉄筋コンクリート構造	2				●		◎		●	
	A1A3343	鉄骨構造	2				●		◎			
	A1A3344	地盤基礎工学	2				●		◎			
	A1A3345	都市数理工学	2	●			●		◎			
	A1A3346	耐震工学	2			●	●		◎		●	
A1A3347	水工水理学	2			●	●		◎				
A1A3348	地盤工学	2			●	●		◎				
A1A3349	建築都市エンジニアリングスタジオ	2	●					●		◎	●	
4年	A1A3002	建築総合演習A	2	●	●						◎	
	A1A3003	建築総合演習B	2	●	●						◎	
	A1A3004	○卒業研究	8	●	●						◎	

物理学専攻のカリキュラムマップ

■カリキュラムマップの見方

この表は専攻ごとに観点別に定めている学位授与方針【ディプロマポリシー（DP）】が修了までに全て達成できるよう、バランスよく履修するツールとなるものです。学位授与方針とは、修了時点での到達目標を表します。一番上には所属する専攻の学位授与方針の番号が記載されており、どの科目で学位授与方針を達成するかを示しています（学位授与方針は下表参照）。

科目名の左側にあるアルファベットと数字は、ナンバリング（科目番号）とあって、履修順序の目安となっています。また、○のついている科目は必修科目です。

各年次の履修科目の【◎】【●】記号は、各学位授与方針との関連度 [【◎】強く関連する／【●】関連する] を表しています。

【学位授与方針】

知識・理解	DP1	宇宙物理学・天文学、物性物理学、原子核・素粒子物理学のいずれかの分野における専門知識をもち、理学・工学の分野を横断的、体系的に理解する。
思考・判断	DP2	宇宙物理学・天文学、物性物理学、原子核・素粒子物理学のいずれかにおいて、1つのテーマをみつけ、その解決策または解決に至るには何が問題かを指摘できるようになる。
	DP3	理学・工学の分野を横断的に見渡すことができ、専門知識を他分野にも応用することができる。
関心・意欲	DP4	物理学以外の活動で起こっている事象の中からでも、物理学の手法で解決できるものがあるならば、その解決策・方策等を系統的に整理して提示できる。
態度	DP5	宇宙物理学・天文学、物性物理学、原子核・素粒子物理学のいずれかのテーマの中で得た思考や実験の結果を整理し、学内物理学系セミナーで、分野の異なる教員や大学院生、さらに学部学生にも理解できるように伝えることができる。分野によっては物理学会など、専門家による研究集会で、決められた時間内で、上記結果を発表できるようになる。
	DP6	自ら率先して、研究室内のセミナーや輪講の企画、実験設備の管理などを、学部学生や後輩院生を監督して円滑に運営できるようになる。学会時に他大学学生との懇親会等に参加して会話ができるようになる。
技能・表現	DP7	現場で発生する問題・課題に対して、対処療法的ではなく、根源に立ち戻って問題の原因を見つけ、その解決方法を探ることができる。

○：必修科目

学年	科目番号	科目名	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	
1年	401	素粒子論特論A	2	◎			●				
	402	素粒子論特論B	2	◎			●				
	403	統計物理学特論A	2	◎		●	●				
	404	統計物理学特論B	2	◎		●	●				
	405	原子分子物理特論A	2	◎		●	●				
	406	原子分子物理特論B	2	◎		●	●				
	407	宇宙物理学特論A	2	◎			●				
	408	宇宙物理学特論B	2	◎			●				
	409	天体物理学特論A	2	◎			●				
	410	天体物理学特論B	2	◎			●				
	411	固体分子物性特論A	2	◎		●	●				
	412	固体分子物性特論B	2	◎		●	●				
	413	物性物理学特論A	2	◎		●	●				
	414	物性物理学特論B	2	◎		●	●				
	415	放射線計測学特論A	2	◎		●	●				
	416	放射線計測学特論B	2	◎		●	●				
	417	ソフトマター物理特論A	2	◎		●	●				
	418	ソフトマター物理特論B	2	◎		●	●				
	501	素粒子論演習A	2	◎	●						
	502	素粒子論演習B	2	◎	●						
	505	統計物理学演習A	2		●		◎	●			
	506	統計物理学演習B	2		◎		●				
	509	原子分子物理演習・実験A	2	●	◎						
	510	原子分子物理演習・実験B	2	●	◎						
	513	宇宙物理学演習・実験A	2	●	◎						
	514	宇宙物理学演習・実験B	2	●	◎						
	517	固体分子物性演習・実験A	2	◎	●						
	518	固体分子物性演習・実験B	2	◎	●						
	521	物性物理学演習・実験A	2	◎	●						
	522	物性物理学演習・実験B	2	◎	●						
	525	○物理学研究1	2		◎		●				
	526	○物理学研究2	2		◎		●				
	529	天体物理学演習・実験A	2	◎	◎						
	530	天体物理学演習・実験B	2	◎	◎						
533	ソフトマター物理演習・実験A	2	◎	●							
534	ソフトマター物理演習・実験B	2	◎	●							
2年	503	素粒子論演習C	2	●	●			◎			
	504	素粒子論演習D	2	●	●			◎		●	
	507	統計物理学演習C	2					◎	●		
	508	統計物理学演習D	2			●		◎	●	●	
	511	原子分子物理演習・実験C	2		●			◎	●		
	512	原子分子物理演習・実験D	2			●		◎	●	●	
	515	宇宙物理学演習・実験C	2	●				◎	●		
	516	宇宙物理学演習・実験D	2					◎	●	●	
	519	固体分子物性演習・実験C	2		◎			●	●		
	520	固体分子物性演習・実験D	2			◎		●	●	●	
	523	物性物理学演習・実験C	2			●		◎	●		
	524	物性物理学演習・実験D	2			●		◎	●	●	
	527	○物理学研究3	2		●			◎	●		
	528	○物理学研究4	2		●	●		◎	●	●	
	531	天体物理学演習・実験C	2	●				◎	●		
	532	天体物理学演習・実験D	2					◎	●	●	
	535	ソフトマター物理演習・実験C	2			●		◎	●		
	536	ソフトマター物理演習・実験D	2			●		◎	●	●	

化学専攻のカリキュラムマップ

■カリキュラムマップの見方

この表は専攻ごとに観点別に定めている学位授与方針【ディプロマポリシー（DP）】が修了までに全て達成できるよう、バランスよく履修するツールとなるものです。学位授与方針とは、修了時点での到達目標を表します。一番上には所属する専攻の学位授与方針の番号が記載されており、どの科目で学位授与方針を達成するかを示しています（学位授与方針は下表参照）。

科目名の左側にあるアルファベットと数字は、ナンバリング（科目番号）とあって、履修順序の目安となっています。また、○のついている科目は必修科目です。

各年次の履修科目の【◎】【●】記号は、各学位授与方針との関連度 [【◎】強く関連する／【●】関連する] を表しています。

【学位授与方針】

知識・理解	DP1	化学分野の論文・資料の検索を通して、専門分野の研究動向を調べ、研究の背景と、研究計画の意味を理解している。
	DP2	化学分野の研究手法に必要な実験技術を有し、実験結果を信頼性のある方法で解析することができる。
思考・判断	DP3	文献検索や学会活動を通して専門分野の研究動向を調べ、自らの研究の位置を判断できる科学的思考を有している。
関心・意欲	DP4	自らの研究に関連する研究報告例と対比しながら、着実に研究を進める関心の継続があり、研究を発展させる意欲を、研究手法の工夫として実践している。
態度	DP5	高い倫理観をもって実験・研究を進めることができる。
技能・表現	DP6	策定された研究手法のもとに着実に実験を進め、信頼性のある分析を経て、研究成果を挙げている。
	DP7	研究成果が、論文発表や学会発表により、客観的に評価されている。

○：必修科目

学年	科目番号	科目名	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7
1年	407	○化学研究 1	2		●			●		●
	408	○化学研究 2	2		◎			◎		◎
	411	無機化学特論 A	2	●		●	●			
	412	無機化学特論 B	2	◎		◎	◎			
	421	無機化学特論 C	2	●		●	●			
	422	無機化学特論 D	2	◎		◎	◎			
	431	有機化学特論 A	2	●		●	●			
	432	有機化学特論 B	2	◎		◎	◎			
	441	有機化学特論 C	2	●		●	●			
	442	有機化学特論 D	2	◎		◎	◎			
	451	物理化学特論 A	2	●		●	●			
	452	物理化学特論 B	2	◎		◎	◎			
	461	生物物理特論 A	2	●		●	●			
	462	生物物理特論 B	2	◎		◎	◎			
	471	分析化学特論 A	2	●		●	●			
	472	分析化学特論 B	2	◎		◎	◎			
	481	生化学特論 A	2	●		●	●			
	482	生化学特論 B	2	◎		◎	◎			
	491	生化学特論 C	2	●		●	●			
492	生化学特論 D	2	◎		◎	◎				
2年	507	○化学研究 3	2		●			●		●
	508	○化学研究 4	2		◎			◎		◎
	511	無機化学演習・実験 A	2		●		●		●	
	512	無機化学演習・実験 B	2		◎		◎		◎	
	521	無機化学演習・実験 C	2		●		●		●	
	522	無機化学演習・実験 D	2		◎		◎		◎	
	531	有機化学演習・実験 A	2		●		●		●	
	532	有機化学演習・実験 B	2		◎		◎		◎	
	541	有機化学演習・実験 C	2		●		●		●	
	542	有機化学演習・実験 D	2		◎		◎		◎	
	551	物理化学演習・実験 A	2		●		●		●	
	552	物理化学演習・実験 B	2		◎		◎		◎	
	561	生化学演習・実験 E	2		●		●		●	
	562	生化学演習・実験 F	2		◎		◎		◎	
	571	分析化学演習・実験 A	2		●		●		●	
	572	分析化学演習・実験 B	2		◎		◎		◎	
	581	生化学演習・実験 A	2		●		●		●	
	582	生化学演習・実験 B	2		◎		◎		◎	
	591	生化学演習・実験 C	2		●		●		●	
592	生化学演習・実験 D	2		◎		◎		◎		

機械工学専攻のカリキュラムマップ

■カリキュラムマップの見方

この表は専攻ごとに観点別に定めている学位授与方針【ディプロマポリシー（DP）】が修了までに全て達成できるよう、バランスよく履修するツールとなるものです。学位授与方針とは、修了時点での到達目標を表します。一番上には所属する専攻の学位授与方針の番号が記載されており、どの科目で学位授与方針を達成するかを示しています（学位授与方針は下表参照）。

科目名の左側にあるアルファベットと数字は、ナンバリング（科目番号）とあって、履修順序の目安となっています。また、○のついている科目は必修科目です。

各年次の履修科目の【◎】【●】記号は、各学位授与方針との関連度 [【◎】強く関連する / 【●】関連する] を表しています。

【学位授与方針】

知識・理解	DP1	材料力学、機械力学、流体力学、熱力学を体系的に理解して、現実の事象に適合したモデルの設計・解析を行う技術を修得している。
	DP2	測定や加工などの研究手法・実験技能を身につけている。
思考・判断	DP3	具体的かつ詳細な研究計画を立案し、当該研究計画に基づき実験及び解析をやり遂げることができる。
	DP4	問題に対する解決策を論理的及び実験に基づく検証により導き出すことができる。
関心・意欲	DP5	ディスカッションを通じて、研究手法、実験手法、解析手法に創意工夫を加えることができる。
	DP6	国内外の学術研究論文や企業訪問を通して、専門分野の先進的な研究、研究に必要な近隣分野の情報を収集し、取捨選択することができる。
態度	DP7	指導教員等と円滑なコミュニケーションを図りながら、リーダーシップをもってチームの研究に貢献することができる。
	DP8	技術者としての高い倫理観を有している。
技能・表現	DP9	4 工学に基づいて、さらにそれぞれを複合したデザイン・加工分野、エネルギー・環境分野、システム・制御分野を選択し、学生が選択した分野において、研究手法・実験技能を身につけている。
	DP10	機械工学分野の専門知識と高い技術力を用いて、既存の製品の問題を発見することができる。
	DP11	科学技術の発展と多様化に対応できる論理的思考力と文章力、プレゼンテーション能力を有している。

○：必修科目

学年	科目番号	科目名	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	
1年	411	材料力学特論 A	2	◎					●				●		
	412	材料力学特論 B	2	◎					●				●		
	413	工業材料特論 A	2	◎					●				●		
	414	工業材料特論 B	2	◎					●				●		
	415	材料設計・強度学特論 A	2	◎					●				●		
	416	材料設計・強度学特論 B	2	◎					●				●		
	417	機械加工特論 A	2	◎					●				●		
	418	機械加工特論 B	2	◎					●				●		
	419	燃焼工学特論 A	2	◎					●				●		
	420	燃焼工学特論 B	2	◎					●				●		
	421	流体力学特論 A	2	◎					●				●		
	422	流体力学特論 B	2	◎					●				●		
	423	環境エネルギー変換特論	2	◎					●				●		
	424	機械力学特論 A	2	◎					●				●		
	425	機械力学特論 B	2	◎					●				●		
	428	人間工学特論	2	◎					●				●		
	429	振動工学特論	2	◎					●				●		
	431	ロボット工学特論 A	2	◎					●				●		
	432	ロボット工学特論 B	2	◎					●				●		
	433	応用数学特論 A	2	◎					●				●		
	434	応用数学特論 B	2	◎					●				●		
	435	機械数学特論	2	◎					●				●		
	436	航空流体力学特論 A	2	◎					●				●		
	437	航空流体力学特論 B	2	◎					●				●		
	441	材料力学演習・実験 A	2		◎	●		●							
	442	材料力学演習・実験 B	2		◎	●		●							
	443	工業材料演習・実験 A	2		◎	●		●							
	444	工業材料演習・実験 B	2		◎	●		●							
	445	材料設計・強度学演習・実験 A	2		◎	●		●							
	446	材料設計・強度学演習・実験 B	2		◎	●		●							
	447	機械加工演習・実験 A	2		◎	●		●							
	448	機械加工演習・実験 B	2		◎	●		●							
	449	燃焼工学演習・実験 A	2		◎	●		●							
	450	燃焼工学演習・実験 B	2		◎	●		●							
	451	流体力学演習・実験 A	2		◎	●		●							
	452	流体力学演習・実験 B	2		◎	●		●							
	453	環境エネルギー変換演習・実験 A	2		◎	●		●							
	454	環境エネルギー変換演習・実験 B	2		◎	●		●							
	455	機械力学演習・実験 A	2		◎	●		●							
	456	機械力学演習・実験 B	2		◎	●		●							
	457	人間工学演習・実験 A	2		◎	●		●							
	458	人間工学演習・実験 B	2		◎	●		●							
	459	ロボット工学演習・実験 A	2		◎	●		●							
	460	ロボット工学演習・実験 B	2		◎	●		●							
	461	航空流体力学演習・実験 A	2		◎	●		●							
	462	航空流体力学演習・実験 B	2		◎	●		●							
501	○機械工学研究 1	2					◎			●	●				
502	○機械工学研究 2	2					◎			●	●				
503	○機械工学研究 3	2					◎					●		●	
504	○機械工学研究 4	2					◎					●		●	

電気工学専攻のカリキュラムマップ

■カリキュラムマップの見方

この表は専攻ごとに観点別に定めている学位授与方針【ディプロマポリシー（DP）】が修了までに全て達成できるよう、バランスよく履修するツールとなるものです。学位授与方針とは、修了時点での到達目標を表します。一番上には所属する専攻の学位授与方針の番号が記載されており、どの科目で学位授与方針を達成するかを示しています（学位授与方針は下表参照）。

科目名の左側にあるアルファベットと数字は、ナンバリング（科目番号）といって、履修順序の目安となっています。また、○のついている科目は必修科目です。

各年次の履修科目の【◎】【●】記号は、各学位授与方針との関連度 [【◎】強く関連する / 【●】関連する] を表しています。

【学位授与方針】

知識・理解	DP1	研究を行うために必要な電気工学に係る基礎的な知識と、実験及びデータ解析に必要な技術を有している。
	DP2	国内外・国際的における技術的問題を理解し、説明することができる。
思考・判断	DP3	研究又は問題解決に必要な情報・技術を取捨選択し、コントロールすることができる。
関心・意欲	DP4	自らの研究テーマを理解し、課題解決ができる。
態度	DP5	試行錯誤をして、問題解決に立ち向かうことができる。
技能・表現	DP6	実験・データ解析結果を活用し、より深い研究に取り組むことができる。
	DP7	研究成果を出すために必要な情報や技術を取捨選択・コントロールする情報マネジメントを学んでいる。
	DP8	実験やデータ解析結果等に基づき、論理的に問題解決策を導き出すことができる。
	DP9	問題発見から解決策の提案まで論文又は口頭でまとめることができる。

○：必修科目

学年	科目番号	科目名	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9
1年	401	電気・電子回路学特論A	2	○				●				
	402	電気・電子回路学特論B	2	○				●				
	403	電気磁気学特論A	2	○				●				
	405	応用電気数学特論A	2	○		●		●				
	406	応用電気数学特論B	2	○		●		●				
	407	電気工学特論A	2		○		●					
	408	電気工学特論B	2		○		●					
	409	応用電気電子工学総論	2	○	●			●				
	411	パワーエレクトロニクス特論	2			○	●					
	412	電気機器学特論	2	●			○					
	413	電力工学特論	2	●	○							
	414	制御工学特論	2					○				
	415	宇宙システム工学特論	2		○		●					
	417	情報通信工学特論A	2	●		○						
	418	情報通信工学特論B	2		●	○						
	420	電磁波工学特論	2			●	○					
	421	マイクロ波工学特論	2		○		●					
	422	電子デバイス工学特論	2				○	●				
	423	物性工学特論	2	●		○						
	431	社会インフラシステム演習・実験	2				●		○		●	
	432	エネルギーストレージ工学演習・実験	2					●		●	○	○
	433	電力工学演習・実験	2				●		●		○	
	434	制御工学演習・実験	2					●		●	○	○
	435	先進電磁波動工学演習・実験	2				●		○	●		
	436	先進電磁材料工学演習・実験	2					●		○	●	
	437	超電導工学演習・実験	2				●		○		●	
	438	低温工学演習・実験	2					●		○	●	
	442	通信情報工学演習・実験	2				●		○	●		
	443	視覚情報工学演習・実験	2					●		○	●	
	444	映像情報工学演習・実験	2					●			○	
445	ナノテクノロジー演習・実験 A	2				●		○	●			
446	ナノテクノロジー演習・実験 B	2				●		●		○		
	501	○電気工学研究1	2				●	●	●	●	●	○
	502	○電気工学研究2	2				●	●	●	●	●	○
2年	503	○電気工学研究3	2				●	●	●	●	●	○
	504	○電気工学研究4	2				●	●	●	●	●	○

建築・建設工学専攻のカリキュラムマップ

■カリキュラムマップの見方

この表は専攻ごとに観点別に定めている学位授与方針【ディプロマポリシー（DP）】が修了までに全て達成できるよう、バランスよく履修するツールとなるものです。学位授与方針とは、修了時点での到達目標を表します。一番上には所属する専攻の学位授与方針の番号が記載されており、どの科目で学位授与方針を達成するかを示しています（学位授与方針は下表参照）。

科目名の左側にあるアルファベットと数字は、ナンバリング（科目番号）とあって、履修順序の目安となっています。また、○のついている科目は必修科目です。

各年次の履修科目の【◎】【●】記号は、各学位授与方針との関連度 [【◎】強く関連する／【●】関連する] を表しています。

【学位授与方針】

知識・理解	DP1	建築物を取り巻く社会的背景や空間特性、機能性を読み解く力を有している。（建築・デザイン）
	DP2	建築、構造、設備、建設における計画、設計、施工、管理の実務に係わる幅広い知見と理解力を有している。（構造・設備・建設工学）
思考・判断	DP3	技術者倫理を理解し、種々の条件・制約を踏まえて、建築物の立案、設計、プレゼンテーションをすることができる。（建築・デザイン）
	DP4	建築構造、建築材料、建築設備あるいは建設工学分野における問題を把握し、考究する能力を有している。（構造・設備・建設工学）
関心・意欲	DP5	専門分野に係わるコミュニケーションを図りながら、文献調査、実験、観測、現地調査など熱意をもって進め、自らの設計、研究を深めてゆくことができる。
態度	DP6	積極的に設計競技に参加し、あるいは学会発表を行い、自らの設計および研究の専門分野における意義と社会的な重要性を認識するとともに、設計および研究における問題に対する解決策を検討することができる。
	DP7	建築、建設技術が社会に及ぼす影響、および設計者、技術者が社会的に負っている責任を理解して、専門分野における自らの課題に取り組むことができる。
技能・表現	DP8	計画から工事監理までのプロセスを理解し、専門家としてそれを実践するための能力を有している。（建築・デザイン）
	DP9	専門知識に基づく実験、実測、解析を行い、結果の整理と解釈から正しい説明を行うことができる。（構造・設備・建設工学）

○：必修科目

学年	科目番号	科目名	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9
1年	411	○建築・建設工学総論A	2	●	●			◎				
	412	○建築・建設工学総論B	2	●	●			◎				
	413	建築・建設工学インターンシップ（集中）	4	●						◎	●	
	421	建築計画特論	2	●		◎						●
	422	建築意匠特論	2	◎		●					●	
	423	建築史特論	2	●		●		◎				
	424	インテリアデザイン特論	2	●		●						
	431	構造デザイン特論	2		◎		●				●	
	432	構造デザイン演習・実験	2		●		●					◎
	433	鋼構造学特論	2		●		◎				●	
	434	鋼構造学演習・実験	2		●		●					◎
	441	地震工学特論	2		●			●		◎		
	442	地震工学演習・実験	2		●			●				◎
	443	地盤工学特論	2		◎		●				●	
	444	地盤工学演習・実験	2				●					◎
	445	防災工学特論	2			●		●		◎		
	446	防災工学演習・実験	2					●		●		◎
	451	建築設備学特論	2		●	●	◎					
	452	建築設備学演習・実験	2		●		●					◎
	461	○建築・建設工学研究1	2	●	●			◎				
462	○建築・建設工学研究2	2			●	●	◎					
2年	463	○建築・建設工学研究3	2					●	●	●		
	464	○建築・建設工学研究4	2							◎	●	●

環境システム学専攻のカリキュラムマップ

■カリキュラムマップの見方

この表は専攻ごとに観点別に定めている学位授与方針【ディプロマポリシー（DP）】が修了までに全て達成できるよう、バランスよく履修するツールとなるものです。学位授与方針とは、修了時点での到達目標を表します。一番上には所属する専攻の学位授与方針の番号が記載されており、どの科目で学位授与方針を達成するかを示しています（学位授与方針は下表参照）。

科目名の左側にあるアルファベットと数字は、ナンバリング（科目番号）といって、履修順序の目安となっています。また、○のついている科目は必修科目です。

各年次の履修科目の【◎】【●】記号は、各学位授与方針との関連度 [【◎】強く関連する／【●】関連する] を表しています。

【学位授与方針】

知識・理解	DP1	環境分野に関する広範で高度な知識を持ち、自己の解決すべき課題の位置づけ、内容、達成方法を理解し、説明することができる。
	DP2	環境問題の分析・解決に必要となる実験・調査(データ収集・解析方法等)を理解することができる。
思考・判断	DP3	環境問題に関する専門知識を有し、環境問題を地域的及び地球的視点から多面的に捉える思考力を有している。
関心・意欲	DP4	専門知識と技術を現実の環境問題の解決のために応用することができる。
態度	DP5	継続的に技術の研鑽・専門知識の修得に励むことができる。
	DP6	実験・演習・研究を通して、問題解決に取り組む意欲と実践力、判断力を身につけている。
	DP7	技術者倫理を理解し、環境技術者として自らの倫理的な判断基準・行動原則を有する。
技能・表現	DP8	環境問題の解決に必要となる実験・分析・調査の技術を身につけ、実践することができる。
	DP9	問題解決のための的確なコミュニケーション力を有する。あわせて、英語で専門的なコミュニケーションをはかることができる。

○：必修科目

学年	科目番号	科目名	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9
1年	400	○環境システム学総論	2	◎		●	●					
	401	環境統計解析	2		◎		●				●	
	402	地球環境科学	2	●		◎	●					●
	403	総合学外実習（集中）	2				◎		●	●		●
	411	都市システム総論	2		◎	●	●					
	412	大気科学特論	2	◎	●	●						
	413	環境化学特論	2	◎		●	●	●				
	414	微生物学特論	2	◎	●		●					
	420	都市環境計画特論	2		◎	●	●					
	421	都市環境計画演習	2		●		●				◎	
	422	環境評価特論	2		◎	●	●			●		
	423	環境評価演習	2		●	●			●		◎	
	424	気象・熱環境学特論	2	◎	●	●						
	425	気象・熱環境学演習・実験	2		●	●			●		◎	
	426	大気環境解析特論	2	◎			●			●		
	427	大気環境解析演習・実験	2		◎	●			●		●	
	430	水環境・バイオプロセス特論	2		●	●	◎					
	431	水環境・バイオプロセス演習・実験	2		●				●		◎	
	432	廃棄物管理・循環資源化特論	2	◎		●	●					
	433	廃棄物管理演習・実験	2		●	●			●		◎	
	434	環境微生物学特論	2	◎	●		●					
	435	環境微生物演習・実験	2	●	●			●			◎	
	436	環境機器分析特論	2		●		◎				●	
	437	環境機器分析演習・実験	2			●	●		●		◎	
	438	環境バイオマテリアル特論	2	●	◎				●			
	439	環境バイオマテリアル演習・実験	2	●	◎				●			
2年	541	○環境システム学研究1	2	◎	●			●		●	●	●
	542	○環境システム学研究2	2	◎	●			●		●	●	●
	543	○環境システム学研究3	2	◎	●			●		●	●	●
	544	○環境システム学研究4	2	◎	●			●		●	●	●

社会学専攻のカリキュラムマップ

■カリキュラムマップの見方

この表は専攻ごとに観点別に定めている学位授与方針【ディプロマポリシー（DP）】が修了までに全て達成できるよう、バランスよく履修するツールとなるものです。学位授与方針とは、修了時点での到達目標を表します。一番上には所属する専攻の学位授与方針の番号が記載されており、どの科目で学位授与方針を達成するかを示しています（学位授与方針は下表参照）。

科目名の左側にあるアルファベットと数字は、ナンバリング（科目番号）といって、履修順序の目安となっています。また、○のついている科目は必修科目です。

各年次の履修科目の【◎】【●】記号は、各学位授与方針との関連度 [【◎】強く関連する／【●】関連する] を表しています。

【学位授与方針】

知識・理解	DP1	自分の意見、主張を論理的に伝えることのできる論文構成能力、コミュニケーション能力を身に付ける。
	DP2	社会学理論・原論あるいは社会福祉理論・原論を学修した上で、教育、歴史、労働、社会保障、地域・思想の領域に関する高度な専門的知識を持っている。
	DP3	社会学・社会福祉学における高度な専門的知識・技能を持ち、自分の研究関心を提示できる。
思考・判断	DP4	現代社会の諸課題に関する洞察と問題提起を行える能力を身に付ける。
	DP5	複雑化する社会問題にアクチュアルに向き合う学術研究の遂行能力を身につける。
	DP6	専門領域の研究状況の概要を把握した上で、当該研究の目的・意義を正確に位置づける能力を備えている。
関心・意欲	DP7	現代社会に生きる人たちをとりまく課題について、人権と社会正義の原理に基づき理解し、そのおかれている状況をめぐる課題を解決できるようにする。
	DP8	専門社会調査士として、多様な調査法を用いた調査企画能力、実際の調査を運営する能力、高度な分析手法による報告書を分担執筆できる能力を身につける。
	DP9	専門領域における研究動向に関心を持ち、研究の達成状況を発表する意欲を持つ。
態度	DP10	自分の意見や主張、成果を社会に誠実に発信できる。
	DP11	実証研究を実施する際の、調査対象者に対するインフォームド・コンセントや研究倫理を理解できる。
技能・表現	DP12	社会学・社会福祉学領域における専門知識を踏まえながら、他者と積極的に意見交換することを通じて自らの研究成果を社会一般に発信する能力を身に付ける。
	DP13	専門領域における研究動向を概観し、研究の達成状況を述べることができる。

国際コミュニケーション専攻のカリキュラムマップ

■カリキュラムマップの見方

この表は専攻ごとに観点別に定めている学位授与方針【ディプロマポリシー（DP）】が修了までに全て達成できるよう、バランスよく履修するツールとなるものです。学位授与方針とは、修了時点での到達目標を表します。一番上には所属する専攻の学位授与方針の番号が記載されており、どの科目で学位授与方針を達成するかを示しています（学位授与方針は下表参照）。

科目名の左側にあるアルファベットと数字は、ナンバリング（科目番号）とあって、履修順序の目安となっています。また、○のついている科目は必修科目です。

各年次の履修科目の【◎】【●】記号は、各学位授与方針との関連度 [【◎】強く関連する／【●】関連する] を表しています。

【学位授与方針】

知識・理解	DP1	「コミュニケーション研究領域」「言語学研究領域」「文化研究領域」「国際社会研究領域」に関する専門的な知識を身に付けている。
	DP2	国際社会における社会・文化の多様性を理解している。
思考・判断	DP3	情報を客観的かつ批判的に判断し、論理的に思考・分析することができる。
	DP4	専門分野に関する知識を体系的にまとめて、自己の研究に応用することができる。
関心・意欲	DP5	グローバルな視野に立って、国際社会の諸問題を解決しようとする意欲をもっている。
態度	DP6	円滑なコミュニケーション能力によって、他者と協働して問題を解決することができる。
技能・表現	DP7	自己の研究を国内外で学会発表できる専門能力を身に付けている。

○：必修科目

学年	科目番号	科目名	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	
1年	401	○研究方法特別講義 A	2	●	●	●	●	●	●		
	402	○研究方法特別講義 B	2	●	●	●	●	●	●		
	411	国際社会研究 2 A (異文化理解)	2	○	○	○	○	●	●	●	
	412	国際社会研究 2 B (異文化理解)	2	○	○	○	○	●	●	●	
	413	国際社会研究 2 C (異文化理解)	2	○	○	○	○	●	●	●	
	414	国際社会研究 2 D (異文化理解)	2	○	○	○	○	●	●	●	
	428	日本語・日本事情特別講義 A	2		●	●			○	●	
	429	日本語・日本事情特別講義 B	2		●	●			○	●	
	431	文化研究 1 A (英米文化研究)	2	●	●	○	○			●	
	432	文化研究 1 B (英米文化研究)	2	●	●	○	○			●	
	433	文化研究 1 C (英米文化研究)	2	●	●	○	○			●	
	434	文化研究 1 D (英米文化研究)	2	●	●	○	○			●	
	441	言語学研究 1 A (英語学)	2		●	○	○		●		
	442	言語学研究 1 B (英語学)	2		●	○	○		●		
	443	言語学研究 1 C (英語学)	2		●	○	○		●	●	
	444	言語学研究 1 D (英語学)	2		●	○	○		●	●	
	451	コミュニケーション研究 3 A (ディスコース分析)	2	●	●	○	●	●	○	●	
	452	コミュニケーション研究 3 B (ディスコース分析)	2	●	●	○	●	●	○	●	
	453	コミュニケーション研究 3 C (ディスコース分析)	2	●	●	○	●	●	○	●	
	454	コミュニケーション研究 3 D (ディスコース分析)	2	●	●	○	●	●	○	●	
	461	言語学研究 3 A (日中対照言語学)	2	○	●	○	○	●	●	●	
	462	言語学研究 3 B (日中対照言語学)	2	○	●	○	○	●	●	●	
	463	言語学研究 3 C (日中対照言語学)	2	○	●	○	○	●	●	●	
	464	言語学研究 3 D (日中対照言語学)	2	○	●	○	○	●	●	●	
	465	国際社会研究 1 A (国際関係)	2	●	○	○	●	○	●	●	
	466	国際社会研究 1 B (国際関係)	2	●	○	○	●	○	●	●	
	467	国際社会研究 1 C (国際関係)	2	●	○	○	●	○	●	●	
	468	国際社会研究 1 D (国際関係)	2	●	○	○	●	○	●	●	
	471	文化研究 2 A (比較文化研究)	2	○	○	○	○	●	●	●	
	472	文化研究 2 B (比較文化研究)	2	○	○	○	○	●	●	●	
	473	文化研究 2 C (比較文化研究)	2	○	○	○	○	●	●	●	
	474	文化研究 2 D (比較文化研究)	2	○	○	○	○	●	●	●	
	481	言語学研究 2 A (英語教育)	2		●	○	○	●	●	●	
	482	言語学研究 2 B (英語教育)	2		●	○	○	●	●	●	
	483	言語学研究 2 C (英語教育)	2		●	○	○	●	●	●	
	484	言語学研究 2 D (英語教育)	2	○	●	○	○	●	●	●	
	487	コミュニケーション研究 2 A (メディア研究)	2	○	○	○	○	●	●	○	
	488	コミュニケーション研究 2 B (メディア研究)	2	○	○	○	○	●	●	○	
	489	コミュニケーション研究 2 C (メディア研究)	2	○	○	○	○	●	●	○	
	490	コミュニケーション研究 2 D (メディア研究)	2	○	○	○	○	●	●	○	
	493	コミュニケーション研究 1 A (ビジネスコミュニケーション)	2	●	●	●	●	●	○	●	
	494	コミュニケーション研究 1 B (ビジネスコミュニケーション)	2	●	●	●	●	●	○	●	
	495	コミュニケーション研究 1 C (ビジネスコミュニケーション)	2	●	●	●	●	●	○	●	
	496	コミュニケーション研究 1 D (ビジネスコミュニケーション)	2	●	●	●	●	●	○	●	
	501	○博士前期研究指導 1 A	2	○	○	○	○	○		○	
	502	○博士前期研究指導 1 B	2	○	○	○	○	○		○	
	2年	503	○博士前期研究指導 2 A	2	○	○	○	○	○		○
		504	○博士前期研究指導 2 B	2	○	○	○	○	○		○

応用経済学専攻のカリキュラムマップ

■カリキュラムマップの見方

この表は専攻ごとに観点別に定めている学位授与方針【ディプロマポリシー（DP）】が修了までに全て達成できるよう、バランスよく履修するツールとなるものです。学位授与方針とは、修了時点での到達目標を表します。一番上には所属する専攻の学位授与方針の番号が記載されており、どの科目で学位授与方針を達成するかを示しています（学位授与方針は下表参照）。

各年次の履修科目の【◎】【○】記号は、各学位授与方針との関連度を表しています（【◎】強く関連する／【○】関連する）。

【学位授与方針】

知識・理解	DP1	経済学の基礎理論を習得している。
	DP2	政策提言のための知見を提示することができる高度な理論的分析手法あるいは実証的分析手法を身に付けている。
	DP3	文献研究や判例研究を通じた実践的知識を有する。
	DP4	地域産業や流通に関する専門的知識を有する。
思考・判断	DP5	現実の経済現象および社会現象についての課題に対する洞察力と判断力を有する。
	DP6	専門分野における高い識見を有し、実務における的確な判断力を有する。
関心・意欲	DP7	積極的に、様々な現実問題に経済学的視点から取り組む意欲を有する。
	DP8	専門知識を基礎として、経済活動に対する深い関心を有する。
態度	DP9	国際化や多様化する現代の社会や組織において、自主性や協調性を持って自己の役割を果たす意欲を有する。
	DP10	社会に対する高い使命感を持ち、職業倫理に基づいた健全な判断力を身に付けている。
技能・表現	DP11	自ら研究計画を立案し、問題発見から解決策の提示にいたる過程を論文としてまとめることができる。
	DP12	自らの考えを効果的に主張することのできるプレゼンテーション能力とともに、他者の考えを把握して討論することのできるコミュニケーション能力を有する。

○：必修科目

学年	科目番号	科目名	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12
1年	401	マクロ経済学	2	◎											
	402	ミクロ経済学	2	◎				○						○	
	403	計量経済学	2	○	◎			○							
	404	経済経営データ分析	2		◎			○				○			
	441	租税法	2			◎		○				○		○	
	400	経済数理分析	2	◎				○							
	411	応用マクロ経済学	2	◎											
	412	応用ミクロ経済学	2	◎								○			○
	413	応用計量経済学	2		◎				○						
	414	経済政策論	2	◎	○				○		○				
	415	サーチ理論	2	◎	○				○	○	○	○			
	416	公共経済学	2	◎	○				○		○				
	417	都市経済学	2	◎	◎				○	○	○	○			
	421	国際金融理論	2		◎				○		○				
	422	国際金融市場論	2		◎				○		○				
	423	金融経済論	2	○						◎		○			
	424	応用金融経済論	2	○						◎		○			
	431	環境経済学	2	◎	○				○		○				○
	432	環境政策論	2	◎	○				○		○				○
	433	流通経済論	2					○		◎		○			
	434	地方財政論	2				◎		○	○		○		○	
	435	ベンチャー企業論	2					○	◎						○
	437	労働経済学	2	◎	○				○		◎	○			
	438	現代社会政策論	2						◎		○	○			
	442	租税法特論	2				◎		○			○		○	
	443	国際租税法	2				◎		○			○		○	
	444	国際租税法特殊研究	2				◎		○			○	○	○	
	445	リーガルリサーチ	2				◎					○			○
	446	財務諸表論	2				◎			○		○			
	447	税務会計論	2				◎			○		○		○	
	448	消費税法	2				◎			○		○		○	
	449	国税通則法	2							○		◎		○	
450	所得税法	2				◎			○		○		○		
451	相続税法	2				◎			○		○		○		
461	マーケティング論	2					○		◎		○				
471	会計学	2				◎		○	○		○		○		
591	応用経済学演習 1 a	2		○	○								○		○
592	応用経済学演習 1 b	2		○	○								○		○
481	租税実務特別講座（寄附講座）	2							○		○	○	◎		
593	応用経済学演習 2 a	2											○	◎	○
594	応用経済学演習 2 b	2											○	◎	○

情報学専攻のカリキュラムマップ

■カリキュラムマップの見方

この表は専攻ごとに観点別に定めている学位授与方針【ディプロマポリシー（DP）】が修了までに全て達成できるよう、バランスよく履修するツールとなるものです。学位授与方針とは、修了時点での到達目標を表します。一番上には所属する専攻の学位授与方針の番号が記載されており、どの科目で学位授与方針を達成するかを示しています（学位授与方針は下表参照）。

科目名の左側にあるアルファベットと数字は、ナンバリング（科目番号）といって、履修順序の目安となっています。また、○のついている科目は必修科目です。

各年次の履修科目の【◎】【●】記号は、各学位授与方針との関連度 [【◎】強く関連する / 【●】関連する] を表しています。

【学位授与方針】

知識・理解	DP1	情報工学及び関連分野の必要な情報を入力し、精査のうえ取捨選択して、獲得した知識や専門知識を関連付けて活用することができる。
	DP2	情報工学及び関連分野に関する専門知識を系統的に理解し、必要な ICT ツールを効率的に利用して、緻密で正確な自己の主張を実現することができる。
思考・判断	DP3	情報工学分野における現状と目標を把握し、その乖離から、解決すべき課題を発見することができる。
	DP4	課題の因果関係を理解し、本質を見抜くことができる。
	DP5	実行結果を客観的に評価し、計画を見直し次期計画に反映することができる。
関心・意欲	DP6	情報工学のみならず、数学・自然科学に関して広い知識を有し、その内容を理解の上、情報工学と共用することができる。
	DP7	知的好奇心を基に専門内外のことに関心をもち、それらから着想を得て斬新な発想をすることができる。
態度	DP8	目的と目標を設定し、順序立てて計画し、実践することができる。
	DP9	自己研鑽のために普段から目標を設定してその達成の道筋を立て、邁進することができる。
	DP10	関連法令を遵守し、社会責任を果たすことができる。
技能・表現	DP11	複雑な事象を整理し、構造化できる。
	DP12	自分の意見を論理的に構築し展開することができる。
	DP13	広く深い知識と経験をもとに、ICT を適切に用いて、精確に作業を進め、情報工学を実践することができる。

○：必修科目

学年	科目番号	科目名	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13
1年	401	コンピュータアーキテクチャ特論Ⅰ	2	○			○		○					●	●	●
	402	コンピュータアーキテクチャ演習Ⅰ	1		○		●				●			●	○	○
	403	計算言語学Ⅰ	2	○	○	●	●	○	●	●	●					
	404	計算言語学演習Ⅰ	1	○	○	●	●	○	●	●	●					
	405	計算科学特論Ⅰ	2		●	●	●		○		●				●	●
	406	計算科学演習Ⅰ	1		●	●	●		○		●				○	●
	411	ネットワークソフトウェア特論Ⅰ	2			●			○							
	412	ネットワークソフトウェア演習Ⅰ	1												●	●
	413	数物情報特論Ⅰ	2						○						●	●
	414	数物情報演習Ⅰ	1						○						●	●
	415	情報ネットワーク特論Ⅰ	2		●				○							
	416	情報ネットワーク演習Ⅰ	1			○			●							
	423	組合せデザイン論Ⅰ	2						○	●						
	424	組合せデザイン論演習Ⅰ	1						○	●						
	425	生体情報工学論Ⅰ	2	●		●	●	●	●	●	●	●			●	●
	426	生体情報工学演習Ⅰ	1	●		●	●	●	●	●	●	●				
	435	画像情報処理Ⅰ	2	●	○	●	○		○	●	●				○	○
	436	画像情報処理演習Ⅰ	1	●	○	●	○		○	●	●				○	○
	437	ヒューマンコンピュータインタラクションⅠ	2	○	●	●					○					
	438	ヒューマンコンピュータインタラクション演習Ⅰ	1	○	●	●					○					
	441	イメージ情報学論Ⅰ	2	●	●		●	●	●	●	●				●	●
	442	イメージ情報学演習Ⅰ	1	●	●		●	●	●	●	●				●	●
	443	プログラミング言語Ⅰ	2		●		●	●	●	●	●				○	○
	444	プログラミング言語演習Ⅰ	1		●		●	●	●	●	●				○	○
	445	情報システム設計論Ⅰ	2	○		●	●					●			○	○
	446	情報システム設計演習Ⅰ	1	○		●	●					●			○	○
	447	情報音楽特論Ⅰ	2		●				●	●	●					
448	情報音楽特論演習Ⅰ	1		●				●	●	●						
451	応用ネットワーク特論Ⅰ	2	●		○	●	○				●			○	○	
452	応用ネットワーク演習Ⅰ	1	●		○	●	○				●			○	○	
453	知能メディア処理特論Ⅰ	2	○	●	○	○	○	○	●	●	●			○	○	
454	知能メディア処理演習Ⅰ	1	○	●	○	○	○	○	●	●	●			○	○	
455	データ解析特論Ⅰ	2		○	●	○			○	●	●			●	○	
456	データ解析演習Ⅰ	1		○	●	○			○	●	●			○	○	
501	○情報学特別輪講Ⅰ	2	●	○	○	●	●				●	●	●	●	○	
502	○情報学特別演習Ⅰ	4	●	○	●	●	○				●	●	●	●	○	
2年	503	○情報学特別実験Ⅰ	6	●	○	●	●	●			●	○	○	●	○	

教育学専攻のカリキュラムマップ

■カリキュラムマップの見方

この表は専攻ごとに観点別に定めている学位授与方針【ディプロマポリシー（DP）】が修了までに全て達成できるよう、バランスよく履修するツールとなるものです。学位授与方針とは、修了時点での到達目標を表します。一番上には所属する専攻の学位授与方針の番号が記載されており、どの科目で学位授与方針を達成するかを示しています（学位授与方針は下表参照）。

科目名の左側にあるアルファベットと数字は、ナンバリング（科目番号）とあって、履修順序の目安となっています。また、○のついている科目は必修科目です。

各年次の履修科目の【○】【●】記号は、各学位授与方針との関連度 [【○】強く関連する / 【●】関連する] を表しています。

【学位授与方針】

知識・理解	DP1	文献や資料を正確に読み、理解する能力を身につけている。
	DP2	関連する教科に関する深い知識を身につけている。
思考・判断	DP3	文献や資料の読解によって得られた理論や考え方などから、教育の現場における個々の具体的な事象に適合する教育方法を演繹的に導き出す実践的な能力を身につけている。
	DP4	教育の現場で得られた調査結果や実践結果から、新たな法則や理論を帰納的に導き出す能力、または既存の法則や理論を検証する能力を身につけている。
関心・意欲	DP5	崇高なるものや美なるものに対する感受性を身につけている。
	DP6	自然界の驚異や秩序、人間のさまざまな営みなどの、関連する教科が対象とする事象に対し、深い愛情と関心を持って接することができる。
	DP7	教育の対象となる者（幼児・児童・生徒・障害者）への愛情と共感を身につけている。
態度	DP8	時代や社会の要請に応えつつも、同時に普遍的な価値を見失わない態度を身につけている。
	DP9	さまざまな教育観があるなかで、幼児・児童・生徒の全人的な成長を優先的に考えることの出来る態度を身につけている。
	DP10	家庭や学校、地域社会における教育事象を、さまざまな学問領域の観点から多面的に批判を加え、自らの教育実践に活かすことの出来る態度を身につけている。
技能・表現	DP11	関連する教科や専門分野に関する熱意を、他者に伝え得る論理性と客観性をもって表現することができる。

心理学専攻のカリキュラムマップ

■カリキュラムマップの見方

この表は専攻ごとに観点別に定めている学位授与方針【ディプロマポリシー（DP）】が修了までに全て達成できるよう、バランスよく履修するツールとなるものです。学位授与方針とは、修了時点での到達目標を表します。一番上には所属する専攻の学位授与方針の番号が記載されており、どの科目で学位授与方針を達成するかを示しています（学位授与方針は下表参照）。

科目名の左側にあるアルファベットと数字は、ナンバリング（科目番号）といって、履修順序の目安となっています。また、○のついている科目は必修科目です。

各年次の履修科目の【○】【●】記号は、各学位授与方針との関連度 [【○】強く関連する / 【●】関連する] を表しています。

【学位授与方針】

知識・理解	DP1	心理学の多様な理論や研究方法論についての知識を修得し、複雑な人間行動のメカニズムを理解できる。
思考・判断	DP2	適切な研究計画を立案し、データを適切に解析するための実証的・科学的な論理的思考を行うことができる。
関心・意欲	DP3	日常的な問題に関心を向け、それを心理学の研究課題として位置付けることができる。
態度	DP4	心理学の研究者または実践家としての倫理を身に付け、自らの専門領域だけでなく、他領域の専門家とも幅広く学術的な交流を行うことができる。
技能・表現	DP5	研究の知見を学術論文として適切にまとめ、諸学会において発表することができ、その知見をさまざまな社会問題の解決に応用できる。

○：必修科目

学年	科目番号	科目名	単位数	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
1年	401	○心理学研究指導 1 A	2		◎	◎	●	●
	402	○心理学研究指導 1 B	2		◎	◎	●	●
	412	心理学研究法特論	2	◎	●			
	413	心理統計法特論	2	◎	●			
	421	臨床心理学特論A	2	◎	●			
	422	臨床心理学特論B	2	◎	●			
	423	臨床心理面接特論A (心理支援に関する理論と実践)	2	◎	●			
	424	臨床心理面接特論B	2	◎	●			
	425	臨床心理査定演習A (心理的アセスメントに関する理論と実践)	2	◎	●			
	426	臨床心理査定演習B	2	◎	●			
	431	臨床心理基礎実習A	1	●			◎	
	432	臨床心理基礎実習B	1	●			◎	
	441	認知心理学特論	2	◎	●			
	444	発達心理学特論	2	◎	●			
	446	学習心理学特論	2	◎	●			
	450	神経心理学特論	2	◎	●			
	452	社会心理学特論	2	◎	●			
	455	障害児心理学特論 (福祉分野に関する理論と支援の展開)	2	◎	●			
	457	心理療法特論	2	◎	●			
	460	発達臨床心理学特論	2	◎	●			
	463	精神医学特論 (保健医療分野に関する理論と支援の展開)	2	◎	●			
	473	学校臨床心理学特論 (教育分野に関する理論と支援の展開)	2	◎	●			
	477	社会病理学特論 (司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	2	◎	●			
	479	産業・組織心理学特論 (産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	2	◎	●			
	481	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	2	◎	●			
	482	心の健康教育に関する理論と実践	2	◎	●			
	483	心理実践実習 1	2	●			◎	
	484	心理実践実習 2	2	●			◎	
	485	心理実践実習 3	2	●			◎	
	488	知覚心理学特論	2	◎	●			
490	学術成果公表演習	2		●			◎	
2年	433	臨床心理実習 A	1	●			◎	
	435	臨床心理実習 B	1	●			◎	
	475	投影法特論	2	◎	●			
	486	心理実践実習 4	2	●			◎	
	487	心理実践実習 5	2	●			◎	
	501	○心理学研究指導 2 A	2		◎	◎	●	●
	502	○心理学研究指導 2 B	2		◎	◎	●	●